



2019年度

第7回 通常総代会議案書

第1分冊

第1号議案



オールユーコープ

事業と活動が一体となり、
組合員とのつながりを
深めています



生活協同組合ユーコープ

第7回 通常総代会 議案検討のながれ

2018年10月

第7回通常総代会議案書作成タスクチーム会の結成

メンバー：3県の組合員理事代表者と各部局代表職員

- ◆ 総代アンケートや職員からの議案書コミュニケーションシートで寄せられた声を議案書に反映させ、わかりやすい内容になるように検討しました。
- ◆ 経営基本方針に沿った事業と活動の取り組みの実践を掲載しました。総代の皆さんの理解が進み、職員の仕事にも生かすために事例の収集を行いました。
- ◆ 組合員理事もメンバーに入り、組合員の視点で「事業と活動が、経営基本方針で掲げた目標との関係でどうなのか」ということの検討を重ねてきました。

2018年11月
～2019年3月

タスクチーム会を4回開催

2019年2月23日
～3月15日

「春の総代懇談会」を開催

神奈川県9会場、静岡県4会場、山梨県5会場、計18会場で開催。1月度までの経営状況と、2018年度取り組んだことについて懇談し、総代から多数の声が出されました。



2019年5月7日
～5月18日

「初夏の総代懇談会」を開催

神奈川県9会場、静岡県4会場、山梨県5会場、計18会場で開催。議案書作成タスクチーム会で検討された内容と、春の総代懇談会で出された声に基づき作成された「第7回通常総代会議案書(案)」第1号議案(第1分冊)・第2号議案～第5号議案(第2分冊)の議案の検討を行いました。

2019年6月7日

第7回通常総代会開催

基本理念

「人－社会－自然」の調和ある
平和な社会の実現に貢献する

2020年ビジョン～私たちのありたい姿～

人と人をつなぎ、
生きるを支える

1. 私たちは一つ一つの行動の積み重ねを通じて「ユーコープがあってよかった」という存在になります。
2. 私たちは安定した剰余を確保し、将来にわたって存在し続けます。
3. 私たちは誇りと自信を持ってユーコープに集い、ユーコープで働きます。

代表理事理事長挨拶

総代の皆さん、日頃のご利用と、活動へのご参加ありがとうございます。新しい生協ユーコープが発足して、6年が経ちました。この6年間は、「生協の原点」にかえり、「組合員が主人公の生協」をめざして努力をしてきた6年間でした。まだまだ道半ばではありますが、いろいろな場面で「ユーコープは変わってきた」「私たちの声が届くようになって嬉しい」といった声もいただくようになりました。この6年間、役職員を温かく、時には厳しく支えていただいた皆さんに、改めて感謝を申し上げます。

さて、2018年度は、経営基本方針のスローガンとして、「すべては 目の前の 組合員のために」を掲げ、3つの柱のもとに事業と活動を進めてまいりました。

第1の柱は「組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。」です。まだまだ接遇についてお叱りの言葉をいただくこともございますが、「配達に来てくれる職員がとてもいい人」「お店の人はどの人も声をかけやすい雰囲気で購入に行くのが楽しい」といったお言葉も多くいただくようになってきました。一つ一つの事例を大切にしながら、ユーコープで働く全ての人が、組合員の皆さんと「友達のような家族のような関係」を築けるように努力してまいります。

第2の柱は「組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。」です。残念ながら、店舗事業の大幅な赤字では、皆さんにご心配をおかけしておりますが、ユーコープセレクションの開発をはじめ、「おうちCO-OPと店舗のポイントの共通化」や「おうちCO-OPカタログ誌面の選択配布」「注文用紙の改善」など組合員の皆さんからいた



生活協同組合ユーコープ 代表理事理事長

と う ぐ し ん い ち
當 具 伸 一

だいた声をもとに、商品や仕組みの改善を進めてまいりました。

第3の柱は、「社会的役割を発揮します。」です。相次いで起こった自然災害への支援や、ユニセフの取り組みをはじめ、被爆者の皆さんとともに、「ヒバクシャ国際署名」にも大きく取り組んできました。「リサイクルセンター」の稼働や「フードバンク・フードドライブ」の活動は、組合員の皆さんから多くの共感の声をいただいております。また「地域見守り」の取り組みでは、行政から大きな期待を寄せられています。

ユーコープは今、ゆっくりではありますが、着実に変わってきています。この6年間の前進面に確信をもちながら、すべての組合員の皆さんと「だれもが幸せになれるユーコープ」を、ともに創っていきたくと決意しております。一緒に手を携えて前進しましょう。

目次

第7回 通常総代会 議案検討のながれ

基本理念 2020年ビジョン

代表理事理事長挨拶

第1号議案 「2018年度取り組みのまとめと2019年度取り組むこと」

2018年度全体のまとめ	2
私たちをめぐる社会の動き	4
2019年度経営基本方針	5
数値でみるユーコープのこの一年	6
2018年度取り組みのまとめと2019年度取り組むこと	8
指針1 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくれます。	8
指針2 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。	12
指針3 社会的役割を發揮します。	20

資料編 30

2018年度 数値でみる私たちの取り組んだこと	
2019年度 おうちCO-OP宅配事業本部事業計画	
2019年度 店舗事業本部事業計画	
2019年度 商品本部事業計画	
2019年度 バックアップ本部事業計画	
2019年度 参加と連携推進本部事業計画	
2018年度 事業結果(事業所別経常剰余実績)	
2018年度 監事監査活動のまとめ	
2018年度 品質保証の取り組み	
市区町村別組合員数	
2018年度 選挙区別選出総代定数	
声明や意見書等のまとめ	
店舗地図	
用語解説	

第1号議案

2018年度取り組みのまとめと
2019年度取り組むこと

なお、議決の主旨に反しない範囲での字句等の修正は、理事会にご一任ください。

※職員の声の所属名は2018年度取り組み当時のものです。

2018年度 全体のまとめ

1. 2018年度の経営結果

経営基本方針の3つの指針をもとに、組合員の声を大切に、おうちCO-OP宅配センター・店舗を中心に各事業所でさまざまな実践を積み上げていくことで事業と活動を進めてきました。

しかしおうちCO-OPの利用人数・店舗の来店者数ともに目標に届かなかったため、全体の供給高は予算比99.0%でわずかに予算を下回りましたが、事業経費は予算以下に抑えられたことで、経常剰余は予算を達成しました。

2. 経営基本方針に基づく主な取り組み

【指針1. 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。】

- (1) 組合員に喜ばれた一人ひとりの事例・行動に光があたり、組織内で広く共有できるように「感謝状」の贈呈や「実践事例発表会」を開催しました。また、職員の人事考課についても、今年度から「行動」に対する評価に重きを置く運用に変更しました。
- (2) LGBT^{※1}を含めた多様な人財が組織の中で生き生きと活躍できる職場づくりを進めることを方針として確認しました。おうちCO-OPリサイクルセンターでは、作業委託先で就労支援を受けていた障がいをおもちの方をパート職員として採用しました。
- (3) 地域の方々への日ごろの感謝をお伝えし、商品の試食などを通じてユーコープをご存じない方にも事業・活動を知っていただくきっかけとなるように、2018年10月に神奈川・静岡・山梨県内11会場で「秋の感謝祭」を開催しました。

【指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。】

- (1) お仲間づくりの取り組み
 - ① 宅配センターやおうちCO-OPご案内ルームが協力して店舗の誕生祭を開催するなど、さまざまな部局が企画に協力したイベントが増え、多くの方にユーコープの事業と活動をアピールする機会になりました。
 - ② 長年の組合員の声に応え、おうちCO-OPと店舗のポイントが共通化され、どちらの利用時にも使えるようになりました。組合員から「とても便利になって本当に良かった」という声を多くいただきました。
- (2) 組合員の願いに応える商品づくり
 - ① コープの産地指定「茶美豚」の供給開始から20周年を迎えたことを記念して、生産者を招いて「茶美豚20周年感謝のつどい」を開催し、生産者や組合員に感謝の気持ちを伝え、交流を深めました。
 - ② ユーコープならではの商品として開発しているユーコープセレクションに、2018年度は14品目が新しく加わりました。また、組合員の声を生かして7品目のリニューアルを行いました。
- (3) 宅配事業（おうちCO-OP・夕食宅配マイシィ）の取り組み
 - ① 組合員がより利用しやすくなるように、お買物もののページ編成、「暮らしと住まい」などの非食品専門店カタログの商品構成の見直しを行いました。
 - ② 「おうちCO-OPの注文書の字が小さくて見づらい」との組合員の声に応え、文字をより大きくし、ご利用しやすくなるように変更しました。また、注文書の配布についても組合員が要・不要を選べるようになりました。

- ③ いつでも気軽に注文できる方法として、新たにスマートフォンアプリ「ポッケアプリ」を開発しました。とれたてトマトくんとのお話形式で簡単に注文でき、組合員から喜ばれています。
- ④ 夕食宅配マイシィでは、利用者に季節を感じてもらえるように土用丑の日「うなぎ蒲焼き重」や年末「牛すき煮重」などの特別メニューを提供しました。また、お届けが休みとなる、お盆期間のお食事として冷凍おかずセットを展開しました。

(4) 店舗事業の取り組み

- ① 組合員の利用しやすさにつながり来店動機となるように、1日単位で行っていた曜日サービスを「スーパー月火市」「とくとく水木金」「土日ハッピーセール」と週3つの企画に変更しました。
- ② 地域の拠点として組合員のくらしに役立つように、2018年5月に上麻生店(川崎市麻生区)、7月にちづか店(甲府市)をリニューアルオープンしました。
- ③ 店舗で使用している設備・機器の修繕を計画的に進める中で、電気使用量を削減するために、LED照明を新たに11店舗に導入しました。
- ④ 業務改善の取り組みでは、年末予約品を組合員にスムーズにお渡しできるように、コープデリバリーの協力により、冷凍品について個人別封印を実施しました。

(5) 福祉事業の取り組み

4月の介護保険・障害福祉サービスの制度変更に伴い、ご利用者個別にご説明と書類交付などの対応を進めました。また、サービス提供体制整備のための人財確保に向けて、介護職員初任者研修修了生への採用アプローチの強化、人材紹介会社の活用などを進めました。

(6) 保障(共済・保険)

《たすけあい》の65歳満期後も「保障を続けたい」という声に応え、2017年に新設されたシニア向け保障「プラチナ85」にも先進医療特約がつけられるようになり、保障内容がさらに充実しました。

【指針3. 社会的役割を發揮します。】

- (1) おうちCO-OP、店舗でのフードバンクの取り組みが広がりました。神奈川県は「公益社団法人フードバンクかながわ」、静岡県は「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」、山梨県では行政・団体を通じて、食べ物の必要な人や団体を支援しています。
- (2) ユーコープ誕生5周年を迎えたことに感謝の気持ちを込め、「ユーコープ誕生セール」や組合員の皆さんのおすすめ商品投票企画「コレいいな! グランプリ」などを企画しました。「コレいいな! グランプリ」で上位に選ばれた商品は、総代会などで試食会を行いました。
- (3) 「健康」への関心が高まる中で、ヘルシー料理教室、血管や骨の健康測定など、食を通じて健康を考えるバラエティに富んだ「食DE健康」のイベントを神奈川・静岡・山梨各地域で開催しました。

私たちをめぐる社会の動き

(1) 暮らしに関する情勢

内閣府の月例経済報告(2019年3月)では「景気は、輸出や生産の一部に弱さもみられるが、緩やかに回復している」と報告されていますが、賃金が伸びない中で、消費者は景気回復を実感できる状況にはありません。

人件費や原材料費の上昇に伴う商品の値上げが続く中、2019年10月に予定されている消費税増税により、消費が落ち込む可能性もあり、今後、消費者の暮らしがより一層厳しくなることが予想されます。

(2) 事業・経営に関する社会情勢

消費税増税と複数税率の導入に向けて、駆け込み需要やその反動減への対応も含めて小売業界では様々な事業上の対応が求められることとなります。

人手不足はすべての業界に広がっていますが、特に運輸業界や小売業界では深刻さを増しており、人件費の高騰が経営を圧迫する要因になっています。

全国の生協でも人手不足は深刻な問題であり、職員が長く働き続けられる制度・職場環境を整備することが求められています。

(3) 憲法に関する政治情勢

自由民主党が憲法改定案を準備し、国会での議論が始まろうとしています。憲法改定は国のあり方を問うものであり、発議されれば国民投票となることから、私たち一人ひとりが主権者として主体的に考え判断できるよう、しっかりと憲法について学ぶことが大切になっています。

(4) 平和に関する国際情勢

アメリカ合衆国のトランプ大統領は「アメリカ第1主義」を掲げ、イラン核合意をめぐる動きなど、世界各国と軋轢を生む政権運営を続けています。また、北朝鮮とアメリカの両首脳による2度目の会談は物別れに終わり、北朝鮮の非核化実現に向けた具体的な道筋は見えていません。

2020年の核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けた準備は進められており、核兵器廃絶に向けた取り組みの強化が求められています。

(5) SDGs^{※2}・環境配慮に関する情勢

企業をはじめ、さまざまな組織がSDGsと自組織の事業・活動を結びつけて、持続可能な社会の実現に向けた取り組みを進めていることをアピールしています。

生協においても、「コープSDGs行動宣言」に基づく取り組みを進め、広く社会へ発信し、生協の事業・活動の価値を高めることが求められています。

(6) 小売業の情勢

スーパーマーケットはドラッグストアやネット通販での食品の売上高拡大に押されている状況で、ディスカウントストアや家電量販店を含め、食品市場における業態の垣根を越えた競争は厳しさを増しています。

また、ICT(情報通信技術)により、電子マネーによる利用・決済、セミセルフレジの導入、顧客の購買・行動パターンなどのビックデータの活用が広がっています。

「すべては 目の前の 組合員のために」

指針1. 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

- (1) 家族や友達のように距離の近い関係づくりを大切にして、暮らしをよく知りその声を生かします。
- (2) 目の前の組合員にとってどうなのかをものさしに、どうやったらできるのか先ずやってみます。
- (3) 助けあい協力しあい仲間を思いやる、ありがたい言葉があふれる仲のいい組織をつくります。
- (4) 地域での組合員活動をよく知り、ともに参加することで組合員とのつながりをより深め広げます。

指針2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

- (1) 利用が増えることで供給が増え、持続的に利益が出る構造へ転換します。
- (2) 一人ひとりの暮らしに役に立つため全事業が協力しあい一体となったお仲間づくりをすすめます。
- (3) 暮らしからの願いに応えることができる商品づくりと品ぞろえをすすめます。
- (4) 宅配事業は店舗事業と協力し、組合員とのつながりを深め地域の暮らしに役立ちます。
- (5) 店舗事業は宅配事業と協力し、組合員とのつながりを深め地域の拠点として役割を果たします。
- (6) 共済・保険は、心・知識・技術を磨き地域にユーコープの保障を伝え広げます。
- (7) 福祉事業は暮らしに寄り添える持続的な事業が展開できるよう人づくりと体制づくりをすすめます。

指針3. 社会的役割を發揮します。

- (1) 内外コミュニケーションを組織全体ですすめユーコープファンの輪を広げます。
- (2) 商品を通じて生産者、お取引先、組合員とつながりの輪を深め広げます。
- (3) 事業と活動が一体となり健康づくり、平和、環境、社会貢献、被災地支援に取り組み、地域を包括したネットワークづくりに貢献します。
- (4) 地域のことをよく知り、お役に立てる実践を積み上げることで地域の一員として役割を果たします。
- (5) 安全・安心、暮らしの知恵、実践事例をわかりやすく、見やすくする改善を進め、同時にコミュニケーションにおいてさまざまなチャレンジをします。

数値でみる ユーコープのこの一年

2018年3月21日

2019年3月20日

ユーコープ全体

供給高	1665.9億円	(前年比 98.4% 予算比 99.0%)
※供給高には共同利用生協への出荷分は含まれていません。		
神奈川県	1084.2億円	(前年比 97.7% 予算比 98.8%)
静岡県	520.8億円	(前年比 99.6% 予算比 99.3%)
山梨県	60.9億円	(前年比 100.4% 予算比 99.3%)
経常剰余金	6.3億円	(前年差△21.9億円 予算差+1.3億円)
当期剰余金	0.7億円	(前年差△16.0億円)
組合員数・加入率		
全体	1,788,834人	(前年比 100.8%) 加入率 30.2%
神奈川県	1,195,440人	(前年比 100.5%) 加入率 29.0%
静岡県	533,631人	(前年比 101.3%) 加入率 36.2%
山梨県	59,763人	(前年比 102.8%) 加入率 17.7%
新規加入者数	83,763人	(前年比 102.3%)
期末出資金残高	335.2億円	(前年比 98.7%)

貸借対照表

[2019年3月20日現在]

【資産】		【負債および純資産】	
現金・預金・商品等(流動資産)	266.2億円	商品代金の支払い等(流動負債)	234.3億円
		職員退職給付引当金等(固定資産)	77.8億円
土地・建物等(固定資産)	484.7億円	出資金	335.2億円
		事業発展のための剰余金	103.5億円
合計	750.8億円	合計	750.8億円

※「貸借対照表」は2019年3月20日現在のユーコープの財産状況を表す表です。

損益計算書

[2018年3月21日～2019年3月20日]

供給高	1713.0億円
供給剰余金	497.2億円
福祉剰余金	0.5億円
その他事業収入	44.7億円
事業総剰余金	542.4億円
事業経費	543.2億円
事業損失金	0.8億円
事業外損益	7.1億円
経常剰余金	6.3億円
特別損益	△3.7億円
税引前当期剰余金	2.6億円
法人税等	2.1億円
法人税等調整額	△0.2億円
当期剰余金	0.7億円
繰越剰余金	6.2億円
当期末処分剰余金	6.9億円

※「損益計算書」は2018年度1年間の事業の結果を示す表です。

おうちCO-OP

商品供給高	1,117.9億円	(前年比 99.8% 予算比 98.9%)
かながわ	663.6億円	(前年比 99.6% 予算比 98.9%)
しずおか	397.0億円	(前年比 100.2% 予算比 98.9%)
やまなし	57.2億円	(前年比 99.3% 予算比 98.1%)
組合員数(個人・グループ合計)	485,718人	(前年比 100.4% 予算比 98.8%)
個別宅配	424,761人	(前年比 101.4%)
グループ宅配	60,957人	(前年比 94.1%)
ママ割・ほほえみ割登録組合員数		
ママ割	100,729人	(前年比 102.0%)
ほほえみ割	140,837人	(前年比 107.7%)
eふれんず登録組合員数	283,537人	(前年比 101.3% 予算比 94.5%)
eふれんず利用人数(週)	110,937人	(前年比 107.3% 予算比 99.2%)

夕食宅配マイシィ

商品供給高	20.4億円	(前年比 104.0% 予算比 102.8%)
かながわ	12.2億円	(前年比 102.0% 予算比 101.2%)
しずおか	7.3億円	(前年比 106.8% 予算比 105.4%)
やまなし	0.9億円	(前年比 109.6% 予算比 103.6%)
年度末利用人数	12,639人	(前年比 101.2% 予算比 101.4%)
年度末週間食数	64,262食	(前年比 99.5% 予算比 101.5%)

店舗事業

供給高	527.6億円	(前年比 95.3% 予算比 99.1%)
かながわ	408.4億円	(前年比 94.6% 予算比 98.5%)
しずおか	116.5億円	(前年比 97.2% 予算比 100.5%)
やまなし	2.8億円	(前年比 127.2% 予算比 129.5%)
実利用組合員数※1	529,886人	(前年比 98.8%) ※1 1年間で1回以上利用した組合員数
月平均利用組合員数※2	343,756人	(前年比 96.8%) ※2 月単位の利用組合員数の12カ月平均
シニアパス発行枚数※3	305,598枚	※3 15年4月度よりバス自動化のため、発行枚数ではなく、誕生日登録をしている組合員の中での対象者
子育て応援バス発行枚数	8,474枚	(前年比 117.1%)
2018年度店舗数※4	98店舗	(2017年度店舗数 98店舗)
かながわ	80店舗	(大型店 14店舗 中型店 31店舗 小型店 35店舗)
しずおか	17店舗	(大型店 6店舗 中型店 9店舗 小型店 2店舗)
やまなし	1店舗	(中型店 1店舗) ※4 年度末に営業している店舗数

共済

共済保有件数	441,183件	(期首差 8,238件 計画差 △2,154件)
共済新規加入件数	31,481件	(前年比 95.4% 予算比 88.6%)
共済給付受付件数	70,627件	(前年比 103.8%)
共済給付金額	38.6億円	(前年比 104.8%)

福祉事業

年間利用人数	のべ 27,756人	(前年比 98.7% 予算比 96.0%)
期末ヘルパー人数	329人	(前年比 99.7% 予算比 94.5%)

組合員よりよせられた声

もしもしコープ	1,328件	eふれんずに寄せられた声	15,195件
商品お申し出	9,756件	CO・OP共済フリーダイヤル	7,358件
おうちCO-OPサービスセンター	753,091件		

指針 **1** 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

目の前の組合員のために、一人ひとりが考え、実践しています

「気持ちよく受け取ってもらいたい」という思いから始めた行動

おうちCO-OP川崎中部センター(川崎市宮前区) 職員 小島 信



「組合員に気持ちよく受け取ってもらいたい。できることは時間がかかってもやりたい」という思いから、配達時に乾いたタオルとウエットティッシュを持ち歩いています。雨などで濡れたプラスチックコンテナは乾いたタオルで拭き、汚れた保冷箱はウエットティッシュで拭いて使用しています。時間に追われた配達時にも手間を惜しまず実践しています。

組合員の声

小島さんは、壊れやすい商品は別に渡してくれるなど、とても律儀に対応してくれます。いつも笑顔で真面目な対応で、安心して利用することができます。

長田 まさ彦さん

職員の声

組合員に気持ちよく受け取ってもらいたい。ため、今後も継続して取り組みます。

おうちCO-OP
川崎中部センター 職員
小島 信



レジャーシートを使って「目の前の組合員のために」を実践しています

おうちCO-OP藤沢センター(藤沢市) 職員 若尾 優実



おうちCO-OPでは、3人以上のグループで商品を受け取る「グループ宅配」があります。通常、グループ宅配では、トラックのあおり部分(トラック荷台の開閉部)を使って商品の受け渡しをしています。おうちCO-OP藤沢センターの若尾さんは、「靴で乗るところだから、ここに食品などを置かれるのはどうなんだろう」と考え、あおりにレジャーシートを敷いて、商品の受け渡しをすることにしました。その行動は組合員に喜ばれています。

組合員の声

若尾さんは、いつもとても頑張っている私たちのアイドルです。レジャーシートは画期的! 今までここまでしてくれる人はいませんでした。雨の日も助かります。

Sさん、Tさん、Nさん

職員の声

いつも「自分がその立場だったらどうだろう?」とその場のシーンを思い浮かべ考えることを心がけています。

おうちCO-OP
藤沢センター 職員
若尾 優実



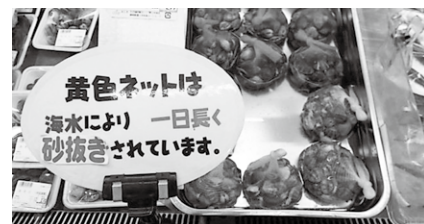
組合員との会話から砂抜きしたアサリの提供を始めました

ミオクチーナ富士中央店(富士市) (株)コープ水産 稲村 和彦



組合員との会話でヒントをいただいています

ミオクチーナ富士中央店では、より鮮度の良いアサリを提供するために、砂を完全に抜かずに買い場に陳列していましたが、何度か「砂抜きしていますか」と質問をされることがありました。そこで職場内で話し合い「組合員の気持ちになると砂抜きしていた方が手間が省けるよね」と、砂抜きしたアサリの提供も始めました。組合員からは「手軽に使える」と喜ばれています。



砂抜きしたアサリはネットの色を変えて提供しています

組合員の声

前日から塩水に入れてあるなら砂抜きOK、夕食にすぐ使えて便利です。 望月 章子さん

職員の声

鮮度を気にするあまり、どのように使うかまで考えられていませんでしたが、組合員さんの一言に学びました。

(株)コープ水産 社員
稲村 和彦



夕食宅配マイシィのリーディングサービスを開始しました

宅配運営部 職員 吉田 麻美



お食事の前に、献立内容を聴いているサービス利用者の鈴木さんご夫妻

夕食宅配マイシィは、当日作った夕食を週5日または週3日玄関先までお届けするサービスです。試食学習会を開催した際、参加された目の不自由な組合員の方より「何を食べているかわからないと不安で、おいしいと感じない」との声をいただきました。「どうすればお役に立てるのだろうか」という思いから、献立内容を読み上げ、CDに録音してお渡しする「リーディングサービス」を開始しました。

組合員の声

9月から週3回おかずコースを利用しています。いつも献立内容を録音したCDを月曜日にもらうので、ボイスレコーダーに録音し、毎回食べる前に夫と一緒に聞いています。何を食べているのか分かるのは、やっぱり良いですね。 鈴木 悦子さん

職員の声

夕食は毎日のことなので、献立をCDで聴くことで、より楽しくおいしい時間になると嬉しいです。

宅配運営部 職員
吉田 麻美



大盛況！秋の感謝祭に、2,337名が来場されました



参加された皆さんへ、バイヤーが試食商品の特長を説明しました。
(山梨県勝山ふれあいセンター会場にて)

秋の感謝祭は、地域の方々へ日ごろの感謝をお伝えする場として、2018年10月に、神奈川・静岡・山梨県内の計11会場で開催しました。参加された皆さんに、コープの新品・人気商品の試食や、職員や生産者との交流を楽しんでいただくことができ、また、これまでユーコープをご存じなかった地域の方にも、商品や事業、活動について知っていただくきっかけとなりました。

組合員の声

生産者のお話を直接聞くことができ、試食はどれもおいしく、今日は来たかきがありました。ありがとうございました。

静岡県クリエイト浜松会場の参加者

多様な人財が活躍できる組織づくりを進めています



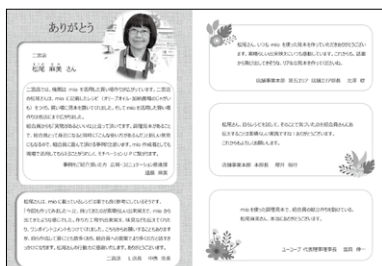
おうちCO-OPリサイクルセンターに入職した9名のパート職員

ユーコープは2018年度、LGBTを含めた多様な人財が組織の中で互いに認め合い、生き生きと活躍できる職場づくりを進めていくことを掲げました。

おうちCO-OPリサイクルセンター（大和市）では、これまで作業委託先で就労支援を受けていた障がいをおもちの9名の方をパート職員として採用。また、外国人雇用も推進し、2018年度末には12か国36名の方が在籍するなど、多様な人財が活躍しています。（2019年3月20日現在）

組合員に喜ばれた事例や行動に光をあて、広く共有しています

組合員に喜ばれた事例や優れた行動に光があたり、その積み重ねが実践を生み出す善い循環となるよう、「感謝状」の贈呈や「実践事例発表会」※3の開催を通じて、組織的に広く共有する取り組みを開始しました。



発行された感謝状

組合員とイベントを共催 コミュニケーションが深まりました

ミアクチャー南林間店（大和市）は、組合員（県央2エリア）と協力し、「コープお店のがっこう」と題した学習会を開催しました。メーカーを招いた「CO・OP味菜卵で作ったゴールデンマヨネーズ」の学習や、職員が講師を務めた魚のさばき方実習などを行い、地域の組合員との交流を深めました。

組合員の声

普段は、なかなか職員とお話する機会がなかったけれど、身近に感じるようになりました。尾崎 信子さん

2019年度 取り組むこと

指針1. 組合員の立場で 実践できる、 人と組織をつくります。



さまざまな部署の職員・パート職員が、総代懇談会や秋の感謝祭などで組合員と交流する機会を増やします。また、おうちCO-OP・店舗での利用の場面やいただいた組合員の声を深掘りし、声に込められた想いを大切に受け止め、一人ひとりが声に基づいた実践や商品開発や買い場づくりなどのサービスの向上に生かしていきます。

地域での組合員の会議や、組合員が参加する地域のイベントに、所属長をはじめ多くの職員が参加するなど、組合員活動への参加を通じて、組合員とのつながりをより深めます。

参加して良かったと思っただけの総代会・総代懇談会の運営と、総代の担い手を広げます。

CO・OP共済では、「共済金の請求のお忘れはありませんか？」など普段のコミュニケーションやポスターなどを通じて、共済金請求忘れゼロ運動に取り組みます。より多くの方に共済金をお支払いすることで、組合員のくらしに貢献します。

おうちCO-OPでは、地域ごとに担当職員を決め、より地域とつながりを大切にする地域担当制の展開を始めます。2019年度はおうちCO-OP川崎中部センター（川崎市宮前区）とおうちCO-OP藤枝センター（藤枝市）で先行導入します。

店長が主体となった店舗づくりを進めます。店舗事業全体で取り組む内容を店長自身が検討したり、事例を通じて店長同士が学びあえる機会をつくります。

「ふれあい」や「イマミル!」などの部内報や、会議での事例の共有、「できている人・できている事業所に学ぶ」取り組みを通じ、自ら考え、判断し、組合員の立場で実践したことを大切にする組織づくりを進めます。

商品の学習会や、産地・工場などの視察研修を積極的に行い、商品知識や、生産者の想いを自らの言葉で伝えられる職員・パート職員の育成と、商品を通じた組合員とのコミュニケーションを深めます。

国籍や障がいの有無など、個人の生い立ちを問わない雇用を推進します。また、店舗総菜部門への外国人技能実習生の受け入れや、LGBT教育などを通じて、多様な人財が認められ、組合員のために働き、力を発揮できる組織風土づくりを進めます。

指針 2 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

組合員の声を生かした商品づくりを進めています



秋の感謝祭(オークラフロンティアホテル海老名会場)でのアンケートの様子

「国産具材で作ったポテトサラダ」(7種の国産野菜ポテトサラダ)は、アンケートやUモニ(P.21右下記事参照)で企画した座談会でいただいた約2,000人の組合員の声を生かし開発を進めました。「具材は国産で」「コクがありまろやかな食感がいい」「ハムは無塩せきが安心」などの声を受け、メーカーと協力し何度も試作を繰り返し、2019年2月にコープセレクションとして発売となりました。

組合員の声

素材が安心できるところがいいですね。子どもが気に入ったみたいなので、夕飯のおかずにも肉や魚に添えて食べたいです！
コーすけくん大好きさん

さっぱりしていておいしいです。ゴロッと野菜も入っていて「野菜が入っている」感があっていいですね。ともちゃんさん

職員の声

たくさんの組合員さんからご意見をいただき、商品づくりに反映し、開発することができました。

商品づくり推進部 職員
北澤 由枝



産地との交流を大切にしています



生産者から茶摘みのコツを教えてください

神奈川県足柄地域で生産されている地産地消のコープ商品「CO-OP神奈川の味と香りのあしがら一番茶」の産地、(株)神奈川県農協茶業センター(足柄上郡山北町)を訪ね、組合員が茶摘み体験をしました。生産者から栽培の仕方や苦労などを聞いたり、おいしいお茶の入れ方を学びながら、交流を楽しみました。



摘んだ茶葉はその場で天ぷらにしました

組合員の声

茶畑のお茶摘みは、童心に帰ったようで楽しかったです。地産地消やお茶のことについても、勉強になりました。

茶摘み体験の参加者

生産者の声

多くの組合員に茶摘み体験と工場での学習会に参加いただき、有意義な交流ができて大変楽しかったです。今後も組合員との交流を大切にしたいです。

(株)神奈川県農協茶業センター 支配人
石渡 哲也氏

おかげさまで茶美豚が20周年を迎えました



「茶美豚20周年感謝のつどい」で組合員に感謝の気持ちを伝える茶美豚生産者の皆さん

2018年度、コープの産地指定「茶美豚」は販売開始から20周年を迎えました。それを記念し、鹿児島県と岩手県の生産者を招いて「茶美豚20周年感謝のつどい」を開催し、組合員と交流を深めました。また、10月11日・12日に茶美豚の産地の一つである「JAいわて花巻」を組合員とおうちCO-OP職員が訪問しました。生産者や取引先の方々も含む総勢38名で飼料用米の稲刈りや産地交流を行いました。



茶美豚産地交流に参加した皆さん

組合員の声

生産者との懇談では茶美豚についていろいろ聞けて良かったです。ますます茶美豚のファンになりました。「茶美豚20周年感謝のつどい」の参加者

愛され広がっています！ ユーコープセレクション



2018年度、ユーコープセレクションは新たに14品目加わり、合計205品目になりました。また、組合員の声を生かして7品目のリニューアルを行いました。組合員の声や願いが“ギュツ”とつまった、ユーコープオリジナルの商品がますます広がっています。



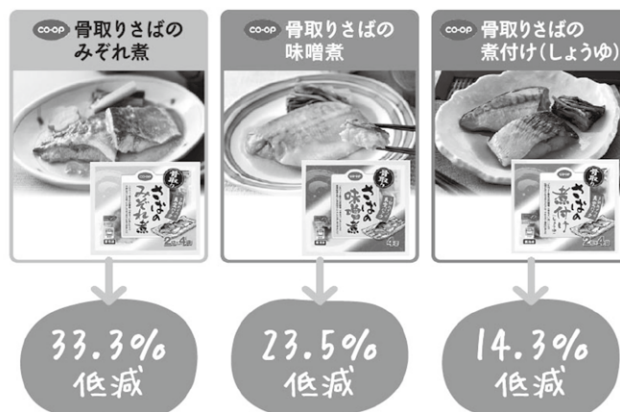
2018年度 開発商品

組合員の声

新商品のニュージーランドビーフを試食しました。牛にとってよい環境で育てているのがわかり、安心していただくことができました。memeyonさん

組合員の声をもとに改善しました 「骨取りさばシリーズ」

「骨取りさばシリーズを購入したいけれど、塩分の取りすぎが気になります」という組合員の声に応え、塩分を約1～3割カットしました(商品によって異なります)。とろみや配合のバランスを調整することで、塩分を抑えても従来品と同じ味わいにすることができました。



宅配と店舗のポイントがどちらでも使えるようになりました



長年の組合員の声に応え、2018年5月21日より「おうちCO-OPポイント」と店舗の「ふれあいポイント」が共通化され、どちらの利用時にも使えるようになりました。おうちCO-OPは商品お届け日、店舗は利用時にポイントが付与され、ポイント残高は宅配ではお届け明細書、店舗ではレシートに合算されたポイント数が記載されています。

組合員の声

おうちCO-OPと店舗両方を利用しているので、どちらでも使えるようになってとても便利になりました!

ドットさん

おうちCO-OPをメインに利用しているので、たまに行く店舗のポイントをいつも失効していました。一緒になったのでとてもうれしいです。

A.Sさん

おうちCO-OPでポイントを使う場合、注文書に書くのが面倒だったけど、店舗ではレジで伝えるだけで良いので、どちらでも使えるようになって便利になりました。

東戸塚駅前店(横浜市戸塚区)利用の組合員

おうちCO-OPでポイント利用できる商品がお得で使っていました。店舗でも使えるようになりよかったです。

春の総代懇談会参加者

いつでも気軽に注文! 「ポッケアプリ」を開発しました



注文コードを入力して、トーク形式で楽しく注文♪

おうちCO-OPの新しい注文方法として、新たにスマートフォン(注文)アプリが加わりました。年々保有率が高まるスマートフォンを使って、気軽に注文できるアプリです。とれたてトマトくんと会話形式で、いつでもどこでも、そして楽しくおうちCO-OPの注文ができます。注文の締め切りの事前通知や、お得なセールのお知らせなど便利な機能もついています。

組合員の声

いつでもお買い物できるのでいいですね。以前はお気に入り登録から呼び出していました。すぐに開けるのが助かります。

ポッケアプリ利用の組合員

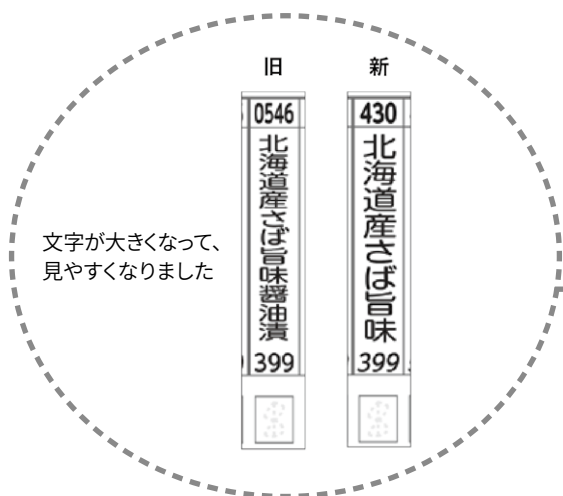
職員の声

組合員さんに「わぁ! 簡単でいいな〜」と喜ばれました。それから毎週ポッケアプリでご注文いただいています。

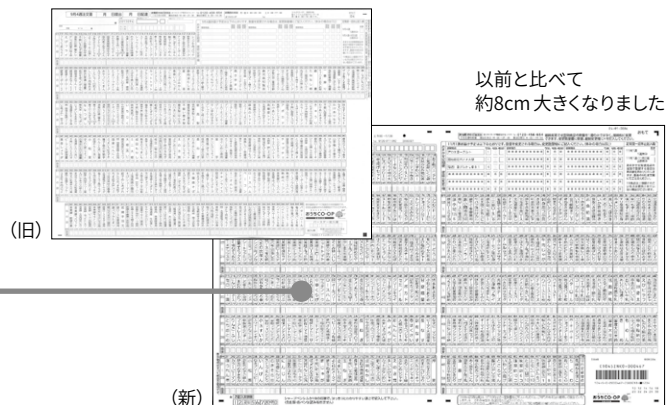
おうちCO-OP 新山下センター
(横浜市中区) 職員
濱谷 征宏



組合員の声を生かした改善を継続して実施しています



おうちCO-OPの注文書は、以前より組合員から「文字が小さくて見づらい」との声をいただいていた。そのため、文字をより大きくし、ご利用しやすくなるよう変更しました。また、2017年度の商品カタログの選択配布に続き、2018年度3月1週より、注文書の配布も要・不要を選べるようになりました。



組合員の声

前は細かくって見るのが大変だったけど、見やすくなってすごく良かった。 Hさん

ネット注文なので、注文書は必要ないとずっと言っていました。実現してうれしいです。

春の総代懇談会参加者

問い合わせの窓口が広がり、より便利になりました

おうちCO-OPへの問い合わせが、サービスセンターでの電話受付だけでなく、おうちCO-OPのホームページや、インターネット注文サイト「eふれんず」からもできるようになりました。「返品」「キャンセル」「配送担当者への伝言」「休止申込み」「各種帳票申請」の問い合わせは専用フォームから、また、その他の問い合わせも、文字入力による対話形式でのチャット窓口や、サービスセンターの営業時間外でも受付可能な問い合わせフォームの運用を始め、より便利になりました。

インターネットでのお問い合わせは
コチラから



組合員の声

チャットですぐに回答いただき、とても助かりました。回答内容も的確で、分かりやすく良かったです。 チャットご利用者のアンケートより

おうちCO-OP自慢の新鮮野菜をお店で販売しています



新鮮野菜に組合員の笑顔があふれます

中津店(愛川町)では、2018年5月30日から毎週水曜日におうちCO-OPの「とれたてシャキット便」の野菜を販売しています。中津店の近隣にある愛川農産セットセンター(組合員ごとに商品をセットし、各宅配センターに配送する施設)の予備分を店舗で販売することで、鮮度の良い野菜を提供でき、セットセンターでの廃棄も減り、来店した組合員にも喜ばれています。この取り組みは、店舗と宅配の協力で実現しました。 ※12月～3月はシャキット便品目数減のため休止

地域の拠点として…店舗リニューアルオープン

ちづか店(甲府市)



オープン当日はたくさんの組合員にご来店いただき、一時入場制限となるほどの盛況ぶりでした



車両送迎サービスの様子



組合員の公募によって名前を決めたくつろぎコーナー「よりみち」



通路幅は1.5m~2mにし、お買い物カートがすれ違えるようにしました。棚も高さ1.4m程度にし、商品を取りやすいようにしました

組合員の声

棚が低くなったり、通路が広がったりして買い物しやすくなりました。山梨に1店舗しかないお店を盛り上げて欲しい。ちづか店がないと困ります。

石田 好美さん

職員の声

リニューアルオープンを通して組合員の要望や声を反映させることの大切さをあらためて感じました。いつ来店されても便利に楽しく買い物できるお店になるよう、今後も職員全員で取り組んでいきます。

ちづか店 店長 廣瀬 有一



地域の拠点として組合員の暮らしに役立ち続けるため店舗改装を行っています。2018年度は5月に上麻生店(川崎市麻生区)、7月にちづか店がリニューアルオープンしました。ちづか店ではオープンにむけて、地域訪問、組合員インタビューなどを重ね、地域・組合員の暮らしや願いを聴き、店舗レイアウトや品ぞろえに反映させました。商品がとりやすいよう陳列棚の高さを下げたり、通路の幅を広げたり、くつろぎコーナー「よりみち」の設置の他、商品お取り寄せサービス、車両送迎サービスなどの実施につながりました。

買い物しやすい店舗に見直しを進めています



寺尾台に新たにイートインコーナーを設置しました

店舗では冷蔵冷凍ケースや空調設備の入れ替え、LED照明への切り替えなどとあわせて買い場の見直しを進めています。寺尾台店(川崎市多摩区)では、冷惣菜やお弁当などの他、おうちCO-OPで利用の多い精肉・鮮魚の冷凍商品の取り扱いを拡大しました。またサービスカウンターの位置を動かして、軽食をとったり一休みするコーナーを作りました。桜台店(横浜市青葉区)や舞岡店(横浜市戸塚区)でも同様の見直しを行い、買い物しやすい店舗づくりを進めました。

組合員の声

明るくきれいになった。違うお店に来たみたい。寺尾台店利用の組合員

組合員の声に応える品ぞろえが広がっています



店内で一つひとつ手作りしています

桜づつみ店で始まった手づくりコッペパンサンド

桜づつみ店(駿東郡長泉町)では、以前から手作りのパンを扱ってほしいとの声をいただいていたのですが、設備がなくてお応えできずにいました。それでも何とかできないかと商品部と協力して、現状の設備でもできるコッペパンサンドの取り扱いを実現しました。組合員に喜ばれているこの取り組みを知った湘南台店(藤沢市)、洋光台店(横浜市磯子区)、ミアクチャー末吉店(横浜市鶴見区)、たまプラーザ店(横浜市青葉区)でも、コッペパンサンドの取り扱いを始めました。組合員の声に応える品ぞろえが広がっています。

職員の声

多くの皆さんの協力でようやく実現できたコッペパンサンドの取り扱いが他の店舗に広がって、うれしく思っています。



桜づつみ店 店長 城山 徳平

組合員がより利用しやすいよう曜日サービスを見直しました

組合員がいつ来店しても楽しく買い物ができるよう、今までの1日単位の企画から「スーパー月火市」「とくとく水木金」「土日ハッピーセール」と週3つの企画に変更しました。

組合員の声

今日は何がお買い得になっているかなと探しながら買い物しています。

東戸塚駅前店(横浜市戸塚区)利用の組合員

組合員の願い・想いを探しに宅配センターへ

(株)コープデリバリーは、おうちCO-OPの商品の仕分けを行うユーコープの子会社です。2018年に入社した社員3名がおうちCO-OPの配送トラックに同乗し、組合員宅に自分たちが仕分けをしている商品を直接お届けしました。普段組合員と接する機会がない中、同乗体験を通して、自分たちの業務が組合員の笑顔につながっていることを実感しました。

職員の声

今回の経験を糧に、今後も組合員に喜んでいただける商品を届けられるよう、品質の向上に努めて行きたいと思えます。



(株)コープデリバリー 社員 稲尾 一馬

店舗と宅配センターが協力して イベントを開催しました



ブースに立ち寄っていただいた親子にCO・OPプリンを試食をお渡します

ハーモス深谷(横浜市戸塚区)誕生祭では、おうちCO-OP横浜西部センター(横浜市戸塚区)とおうちCO-OPご案内ルームが共同出展し、ガチャガチャ抽選やコープ商品の試食、お子さんへの風船プレゼントとあわせて、おうちCO-OPの紹介をしました。(株)コープライフサービス・店舗共済推進G・組合員によるさまざまな企画もあり、多くの方にユーコープを知っていただく機会になりました。

職員の声

お店と協力したイベントでおうちCO-OPのご案内もでき、ご利用の輪が広がりました。



おうちCO-OP横浜西部センター 職員
小野澤 隆

「聞こえ」の困りごとに店舗と福祉が連携、 補聴器の購入をサポート



組合員宅で耳の検査をしているコープケアサポートセンター青葉の小川さん

組合員のAさんから「耳の聞こえがよくないが、補聴器をデパートまで買いに行けない」と聞いた寺尾台店(川崎市多摩区)パート職員の岡本さんは、以前学んだ、自宅で検査を受けて購入できるユーコープの補聴器を紹介しました。その後、問い合わせを受けてコープケアサポートセンター青葉(横浜市青葉区)の小川さんが訪問し、聞こえの様子を確認したところ、1回の補聴器の調整では聞こえを改善できないことがわかりました。小川さんは補聴器メーカーと相談し、何度も訪問して補聴器の調整を実施。その結果、耳に合う補聴器を提供でき喜ばれました。

組合員の声

親切な方が来てくれて、補聴器の相談にのってもらいました。相談してよかったです。 Aさん

「たすけあいの輪」の広がりで CO・OP共済の保障がさらに充実

「《たすけあい》の65歳満期後も先進医療特約を継続したい」という組合員の声に応え、

2017年に新設されたシニア向け保障「プラチナ85」にも先進医療特約をつけられるようになりました。



組合員の声

がん、先進医療にも対応できると知り、申し込みました。忙しい中いてないに対応してくださいました。E・Kさん

各分野での業務の見直しや効率化で 経費の削減を進めました

桜木町本部(横浜市中区)では、本部と店舗・宅配センター間での書類などの配送便の運行の見直し、各事業所では電気契約プランの見直しや警備回線の変更などの経費削減を行いました。また店舗では、LED照明を新たに11店舗で導入し、98店舗中40店舗(部分



導入を含む)への導入が進みました。

事業所と本部を往復する専用のカバンに資料を入れている様子

2019年度 取り組むこと

指針2.

組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革をすすめます。

宅配 食物アレルギー配慮食品専門カタログ「いっしょにたべよ!!」を発行します(3か月に1度の発行、保存版)。毎週注文することができ、eふれんずでは、Webカタログを見ながら、いつでも注文できます。家族みんなが同じメニューを楽しむ食卓づくりに貢献します。

簡単調理アイテムシリーズ(らくうまミールキット)の充実を図ります。これまでの冷蔵品に加え、冷凍品での簡単調理品の扱いを開始し、調理時間の短縮要望に応えます。また、見やすく選びやすいカタログづくりを進めます。

eふれんずをシンプルでお買い物に特化したデザインへと変更し、より使いやすくりニューアルします。あわせて、お買物めもでリニューアルキャンペーンなどを行い、eふれんずの便利さを一人でも多くの方に伝える取り組みを進め、近年のスマートフォンの普及に対応し、利用しやすさを提供します。

現在のグループ宅配を継続していただくための職員のかかわり方の検討と、地域のコミュニティのように気軽に利用していただける新しいグループ宅配の形を模索し、地域の一員としてお役立ちが実現できる配送拠点づくりにチャレンジします。

宅配 **店舗** より多くの新しい組合員をお迎えできるよう、チラシによるユーコープのお知らせ、地域訪問、店舗でのお声かけ、インターネット加入などを通じてお仲間づくりを進めます。

店舗 店舗事業本部に新たに事業構造改革推進部を設置して、店舗事業の経常剰余黒字化に向けた計画づくりや各店舗の損益改善の支援を行います。

老朽化した設備の入れ替えや、環境に配慮したLED照明の導入、地域にあわせた品ぞろえや買い場の実現、イートインコーナーの設置など、組合員に気持ちよく利用していただき、地域の拠点として継続的に営業していけるよう、計画的に改装投資を行います。

品切れなく鮮度の良い商品を提供できるよう、仕入れ調達や商品の提供方法・管理方法の見直しを進めます。同時に食品ロスの削減に取り組みます。

商品発注システムの活用、買い場を変更する頻度の見直し、運営体制の見直しなどの作業改善を進め、人手不足の解消とサービス提供体制を整えます。

商品 宅配センター限定の企画や、店舗の地場商品の扱いの充実など、地域で支持されている商品や、地域で必要とされているくらしに根ざした商品の扱いを広げます。また、地域の生産者とユーコープのつながりを深め、地域の期待に応えます。

産直・産地指定商品など、ユーコープならではの価値を追求した商品のお知らせ強化に取り組み、ユーコープファンの輪を広げます。

産地を指定した原料などユーコープならではの食材を使ったオリジナル総菜商品づくりを進め、利用が増えている総菜商品の充実を進めます。

福祉 福祉事業では、ヘルパーなど介護職員の採用や教育に積極的に取り組み、組合員や地域の要望に継続してお応えできるようにサービス提供体制を整えます。

その他 CO・OP共済では、加入申込書の改定を行います。レイアウト変更や、告知事項表現の見直し、契約者押印欄をなくし署名のみとするなどの変更をします。また、Web上で手続きが完結できる仕組みの導入を進め、組合員の利便性をより高めることで、サービスレベルの向上を図ります。

これまで生協の葬祭サービスの提供がなかった山梨県内で、組合員の声に応え、葬儀斡旋紹介事業「ゆきげ葬やまなし」を開始します。

指針 **3** 社会的役割を發揮します。

店舗で、おうちCO-OPで、フードバンクの活動がいっそう広がりました

フードバンクとは、食べられるにもかかわらず捨てられてしまう食べ物を個人や企業などが出し合い、支援を必要とする人へ届ける活動です。



エリア企画の見学会で、寄贈食品の仕分けをする参加者。フードバンクかながわ(横浜市金沢区)にて

店舗でのフードドライブ活動に、たくさんの組合員の協力が!

ユーコープでは、「家庭で眠っている食品」があればお店に持ってきてもらうよう組合員に呼びかけるフードドライブを進めています。余っている食品を分かち合うことで生活困窮者を支援し、同時に食品ロスも減らす活動です。未開封で賞味期限まで2カ月以上ある食品を店舗にお持ちいただき、集まった食品を地域のフードバンクや行政を通じて、食べ物に困っている家庭や子ども食堂などに届けます。

2016年より毎年1月と8月の2回、静岡県内の全店で実施してきましたが、「神奈川でもやってほしい」との総代の声を受け、2018年1月に神奈川県内でも6店舗で開始しました。2カ月後の3月21日には神奈川県内の協同組合など12団体が共同で「フードバンクかながわ」を設立。これにより8月の実施から神奈川県内の参加店舗が急増し、2019年1月のフードドライブは、神奈川・静岡・山梨の計81店舗が取り組みました。回を重ねるごとに組合員の認知が広がり、2018年度は合計4,490kg(神奈川2,816kg、静岡1,626kg、山梨48kg)の食品を3県のフードバンクや行政に寄贈することができました。

組合員の声

日本は食品ロスが多く、食べられる食品を捨ててしまうことはもったいないと思っていました。フードドライブの取り組みは、とても大切だと思います。T.Uさん



3県のフードバンク活動について

神奈川県内では「公益社団法人フードバンクかながわ」、静岡県内では「特定非営利活動法人フードバンクふじのくに」に協力し、また山梨県では行政・団体を通じて、食べ物の必要な人や団体を支援しています。



ちづか店(甲府市)でのフードドライブの様子

宅配センターでのフードバンク活動

おうちCO-OPでは、配達直前にキャンセルのあった食品をフードバンクや行政へ寄贈する取り組みを段階的に進め、2018年9月より全宅配センターで実施できるようになりました。運送中に袋が破れたお米や、宅配の物流センターの予備商品なども寄贈しています。



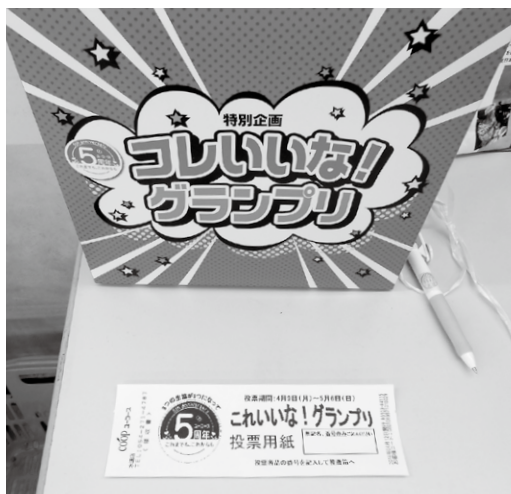
店舗や宅配センターからフードバンクかながわへ寄贈した袋破れや陳列期限切れの米は再精米して活用されます

職員の声

フードバンクが始まった時に携わっていたので、早く全宅配センターで展開をと思っていました。フードバンクを通じて生活に困窮する方に食べ物を提供できることで、社会貢献や食料資源の有効活用に役立てることをうれしく思います。

おうちCO-OP浜松北センター(浜松市北区)センター長 三浦 公大

ユーコープ誕生5周年を記念してさまざまな取り組みを行いました



水道店(静岡市葵区)の買い場に設置された投票箱



これいいな!グランプリ上位10社に感謝状をお渡ししました。2位に選ばれた(株)フンドーキンにて

2018年3月21日にユーコープは誕生5周年を迎えました。これまでの感謝を含め、「ユーコープ誕生セール」や組合員の皆さんのおすすめ商品投票企画「これいいな!グランプリ」(応募総数21万1,047票)など、さまざまな企画を行いました。「これいいな!グランプリ」で選ばれた上位商品は、産地交流をしたり、総代会や秋の感謝祭で試食会を行いました。

生産者の声

今回、「これいいな!グランプリ」で、弊社製造の「香り豊かなゆず果汁ぼん酢」が組合員の皆さまより2位に選出されたこと、大変感謝いたしております。

(株)フンドーキン 社長 小手川 強二氏

総代懇談会に自宅からでも気軽に参加できるようになりました

総代懇談会に参加できない場合も、事前にお届けする資料を見て、気軽に声を送っていただける「自宅参加」の仕組みができました。報告は紙資料のほか、



音声入り動画でも用意しますので、パソコンやスマートフォンで閲覧できる場合は取り組みや議案の理解をいっそう深めていただけます。

スマホ版総代ルーム
(イメージ)

組合員の声

スマホでのコミュニケーションシートの送付は分かりやすく、提出してみようと思えるものでした。気軽に報告動画も見ることができて、とても良いと思います。

M.Mさん

ユーコープモニター制度「Uモニ」スタート!



悩みや工夫で盛り上がる「おそうじグッズ座談会」の様子

ユーコープモニター制度「Uモニ」がスタートしました。インターネットを活用したアンケートや商品座談会のほか、自宅に届く試作品を評価いただくWeb商品モニターなどを実施しています。いただいた声は商品づくりやサービス改善に生かします。2018年度末の登録者数は6,420名で、年間63企画を実施しました。

交通安全教室がさまざまな方を対象に広がっています



なとりサロン(シニアクラブ)での講義の様子

おうちCO-OPでは、要請いただいた幼稚園や保育園、学校などに出向き、交通安全教室を行っています。2018年度は、新たに高齢者を対象とした内容での開催や、障がい者施設でも開催するなど、多くの方に参加いただきました。特に高齢者向けの交通安全教室は、山梨県甲斐市社会福祉協議会でのデモンストレーション開催がきっかけで地域に広まり、計6会場での開催となりました。危険に気づく訓練や確認の大切さ、目の動きの検査を実施し、好評でした。

職員の声

皆さん真剣な眼差しで講義を聴かれていました。特に「目の動きの検査」は大変盛り上がりました。



おうちCO-OP甲府センター(甲府市)職員 高井 薫

豪雨・地震で被害のあった地域を皆で支援

組合員の皆さんより温かい支援がたくさん寄せられました。

西日本豪雨緊急募金

記録的な大雨で甚大な被害を受けた地域へ組合員からの募金5,438万4,050円を寄付しました。またユーコープの職員4名が岡山県真備町で支援活動をしました。



岡山県倉敷市真備町の支援活動。ボランティアが道路をきれいになります

北海道胆振東部地震緊急募金

被災した地域へ組合員からの募金3,250万4,657円を寄付しました。

核兵器の廃絶を求める「ヒバクシャ国際署名」の広がり

核兵器禁止条約が採択され、世界的に核兵器の非人道性に対する認識が高まるなか、「ヒバクシャ国際署名」は2019年3月20日現在、当初の目標を大きく上回る累計19万4,066筆となりました。2020年の



NPT(核不拡散条約)再検討会議に向けて、引き続き広く呼びかけます。

上郷店(横浜市栄区)の店頭で行った署名活動の様子

地域見守り活動に取り組みました

おうちCO-OP、夕食宅配マイシィの人命救助につながった地域見守り活動(7件)に対して、5つの宅配センターが神奈川県より感謝状をいただきました。また山梨県では、新たに甲斐市、南部町、昭和町、富士川町と見守り協定を締結しました。



黒岩神奈川県知事より感謝状を授与されました

食を通じて健康を考える「食DE健康」の取り組みが人気です

食と健康がテーマの楽しくてためになる講演会や、ヘルシー料理教室、血管や骨の健康測定、質問票に記入すると日ごろの食事の偏りが判定できる体験会など、バラエティに富んだ「食DE健康」イベントを各



地で開催しました。

桜づつみ店(駿東郡長泉町)の試食会で血管年齢を測定中

2019年度 取り組むこと

指針3. 社会的役割を 発揮します。



Webで参加ができるユーコープのモニター制度「Uモ二」の取り組みを進め、より多くの方にユーコープを知っていただき、ユーコープファンの輪を広げます。

交通安全教室、おひるねアート、キッズ店長、地域主催のお祭りやイベントなど、地域の人たちに喜んでいただける取り組みを、その地域の事業所が協力し、組合員活動が一体となって実施し、地域とのつながりを深めます。

ユーコープの事業や活動について、より多くの方に知っていただくために、新聞や雑誌などメディアへの発信を継続して進めます。

組合員から伺った商品への想いや、活用・保存方法など、暮らしに役立つ情報の発信や、組合員同士が気軽に情報交流をしたり、活動の情報を得られる場をつくります。また、産地との交流(田植え・稲刈りなど)やエリア企画などの多彩な活動を通じて、生産者やお取引先、また組合員同士のつながりを深め広げます。

2020年に開催される核不拡散条約(NPT)再検討会議に向けて、ヒバクシャ国際署名や、ピースリレーなど核兵器廃絶に向けた取り組みをさらに広げ、親子で平和を学べる場づくりや、平和の大切さを実感できるわかりやすい発信を進めます。

「2030年に向けたユーコープの環境基本政策」に基づき、温室効果ガスの削減・環境配慮商品の普及・リサイクル活動を含む廃棄物削減について冊子を作成し、配布や、ホームページへの掲載を進め、学習する機会を設けます。

フードバンク・フードドライブ活動について、食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」削減と、食べ物に困っている人を支援する両面からお知らせし、取り組みを広げることで、より多くの組合員の参加につなげます。

「震災を忘れないこと」「最後まで支援を続けること」を大切に、被災地の復興支援と被災地の現状を知り伝える活動を継続します。また地域行政・諸団体と協力し、自然災害への心構えや日ごろの備えについて学べる機会を広げます。

店舗事業では、人口減少や、少子高齢化などの社会的な環境の変化による買い物困難への対応として、車両送迎サービスや、商品お届けサービスなどの実験的な取り組みを継続して進めます。

夕食宅配マイシィでは、地域ケアプラザや、社会福祉協議会、総合病院などで、お食事・健康管理食の意見交換会を開催し、地域でのお役立ちができるよう、地域の方と積極的に交流を図ります。

保障の大切さや、CO・OP共済の保障内容のお知らせを行う場として、「保障相談会」の開催をすすめます。血管年齢測定イベント等を合わせて開催し、組合員に保障の見直しのきっかけとなる場を提供します。

健康と食生活を考える「食DE健康」の取り組みが、より多くの組合員の健康増進に役立つよう、これまでの組合員や地域活動との連携に加え、事業との連携を強化・推進します。

組合員や職員を対象にした介護ミニ講座の開催や店舗やおうちCO-OPのご利用を通じて介護に必要な情報をお届けします。

次世代に平和の願いをつなげる！ 平和の取り組み

未来の平和のために、平和の大切さを伝える活動を神奈川県全域で行っています。「平和の募金」を受け付け、今年は、昨年好評だった映画上映会を2会場で開催しました。関内ホールで上映した「この世界の片隅に」は親子が参加しやすいように土曜日開催とし、鎌倉芸術館の

COOP 本物のつどい 映画上映会 無料

「この世界の片隅に」
日時：2019年2月16日(土)
10:30~13:00
(開演：10:00~)
会場：関内ホール 大ホール
(小ホールは観覧不可)
定員：1,000名(先着)

「いつまた、君と〜何日君再来〜」
日時：2019年2月18日(月)
10:30~13:00
(開演：10:00~)
会場：鎌倉芸術館 小ホール
(小ホールは観覧不可)
定員：500名(先着)

生活協同組合 コーポ
お問い合わせ先：かながわ県本部 045-305-6116 (月~金 10:00~17:00)
*無天候時の開催の可否は、開催日前日の12時より上記電話番号にてお問い合わせください。

し、鎌倉芸術館の「いつまた、君と〜何日君再来〜」は大人向けに平日に上映しました。幅広い世代の方にとって広く平和を考えるきっかけとなりました。

被災地を忘れない 「福島訪問の取り組み」

福島訪問を一緒に行っているコープふくしまの方の「若い人にも福島の現状を見てほしい」という声に応え、夏休みに10組の親子が津波や風評被害の大きかった福島県いわき市を訪問しました。同乗した語り部さんから、実体験に基づいた震災当日の津波の話や復興途中の現状を伺いました。津波の被害を実際に現地で見ること、そして語り部さんの体験談を



福島訪問に参加した親子

直接伺うことができたことがとても貴重な機会となりました。

組合員の声

なかなか子どもを連れて福島へ行く機会がないので、とてもよい企画だと思いました。震災を知らない子に伝えていくこと、現状を知ることとはとても大切だと再認識しました。 Tさん

地域の組合員が大活躍！ 県内25カ所の祭りに参加

くらしやすい地域をめざして、行政や他団体とのネットワークを広げています。湘南3エリア会では、実行委員会が「茅ヶ崎市民ふれあいまつり」に参加し、組合員からの提供品で福祉バザーを行いました。また、近隣店舗の協力を得て、アメリカンドックなどを販売し、大変好評でした。その他、各エリアでも市民まつり、子育てフェスタ、消費生活展など地域のイベントに多数参加しています。



茅ヶ崎市民ふれあいまつりは大盛況

地域の組合員へ感謝をこめて！ センターまつり・誕生祭を開催

おうちCO-OP藤沢センター(藤沢市)は、「ユーコープファン感謝デーin藤沢」をミアクチーナ湘南辻堂駅前店(藤沢市)で初めて開催しました。コープ商品の試食コーナー、おねんねフォトや輪投げなどキッズコーナー、スクロール(婦人服)即売会、共済コーナーなど多彩なブースがあり親子で楽しめる企画となりました。平日開催ではありませんでしたが、200人を超える方に参加していただきました。



輪投げの様子

職員の声

店舗、エリア会、センターが一つになって地域にアピールする、このような会に参加したことが初めてという組合員が多数いて、これからもっとユーコープを好きになっていただけるのではないかと思います。

おうちCO-OP藤沢センター
センター長 細田 哲也



組合員のくらしの見直しに役立つ情報の提供を

LPA^{※4}かながわの講師による「連続FP^{※5}入門講座」「FP3級資格取得講座」などを開催しました。また、くらしの見直し講演会として、ファイナンシャルプランナーの深田晶恵さんによる『『お金を減らさない』家計管理のポイント』、介護ブログ運営者の工藤広伸さんによる「がんばりすぎずにしれっと認知症介護」を開催しました。



6月のくらしの見直し講演会の様子

子育てひろば 各地区に広がっています！ 気軽に遊びにきてね

地域の子育てを応援しています。子育て中の親子が一緒に参加し、おしゃべりをしたり情報交換をしたり、自由に過ごすことができる場として「子育てひろば」を定期的で開催しています。今年度新たに開設された3カ所を加え県内8カ所の店舗で開催が広がっています。

組合員の声

ママたちとの交流や情報交換、子どもたちのイベントがいろいろあって楽しいです♪
Y. Kさん

各地で開催 エリア会交流会(スタートの会)

西湘1エリア会のスタートの会は、ユーコープふれんず「手話コースすみれの会」さんによる発表から始まります。組合員同士の交流を深めるために、エリア会の活動報告だけでなく、ストール講習会を取り入れ和やかな雰囲気の中で楽しいひと時を過ごしていただきました。地域の組合員が集まり、楽しく交流するイベントを各地で開催しています。

組合員の声

ふだん何気なくコープを利用していますが、活動報告や商品の紹介など勉強になりました。
Sさん

いろいろなストールの巻き方のアレンジが学べてよかった。
Kさん

神奈川県立津久井養護学校にて 防災食の学習会

県央1エリア会では、地域からの要望により神奈川県立津久井養護学校で開催された「防災交流学習」の中で、防災食の学習会を行いました。災害時に役立つドライスープを水で戻して食べる方法やスナック菓子と缶詰を混ぜて簡単にできる防災食のレシピ、ローリングストックにオススメのコープ商品などを紹介しました。初めての会場での開催でしたが、参加された学校関係者や地域の皆さんに喜んでいただきました。



ローリングストックの商品見本

食DE健康企画 「楽しく! 元気に! 魅惑のひとりごはん♪」

家庭料理の達人、奥菌壽子先生の講演会を開催しました。当日は420人の参加があり、会場は満員御礼となりました。毎日みんなそろって食卓を囲むのが当たり前でなくなり、自分ひとりで食事する時でも不足しがちな野菜とタンパク質が摂れる料理、おいしく食べて健康に暮らすアイデアを紹介していただきました。

熱心に話を聞く参加者の皆さん



採って食べて 「オレ達のえだ豆」収穫体験

毎年大人気の「オレ達のえだ豆」収穫体験を開催しました。雨上がりの畑に立ち込める枝豆の青い香りを感じながら、生産者と一緒に収穫しました。大きなトラクターのハンドルを握って運転体験も楽しみました。生産者直伝の茹で枝豆、スパイスを使った枝豆サラダのレシピも教わりました。試食のタイミングで、おうちCO-OPのトラックが到着して、配達担当者が飲み物を配る演出にも歓声が上がりました。



事前に生産者と会い「お祭りのような雰囲気になりたい」というお話を受けておうちCO-OP藤枝センター(藤枝市)とみずほ店(静岡市駿河区)との共同で取り組みました。今後もさまざまなエリア企画で一緒に取り組みができるよう考えたいです。

中部2エリアコーディネーター
杉 瑞穂



摘果・収穫体験で育てたみかんを 被災地の皆さんへ届けよう!

浜松といえば「三ヶ日みかん」を思い浮かべる方も多いかもしれませんが「都田みかん」も地元で馴染み深い人気のみかんです。エリア企画で8月に「摘果体験」、11月に「収穫体験」をしました。生産者の方が甘いものを選んで箱詰めしたみかんに、参加した小学生が思いを込めて書いてくれたメッセージを添えて、被災地へ贈ることもできました。

組合員の声



福島の皆さん、おいしいみかんを味わってください。静岡からおうえんしています!

参加した小学生の皆さんの寄せ書きより

みかんの収穫体験に参加した子どもたちがメッセージを書いて贈ることで、被災地で暮らす人たちのことを考える機会になったと思います。

西部2エリアコーディネーターの皆さん

ドン♪ドン♪ドン♪ 太鼓の音でお祭りスタート!!

ミオクチーナ下野東店(静岡市清水区)の夏祭りで、地域で活躍されている「押切八幡太鼓保存会」の皆さんに演奏披露をしていただきました。迫力ある和太鼓の力強い音、熱気溢れる演奏に誰もが魅了されました。終演後はご厚意により、来店された皆さんに太鼓を叩かせてもらう体験会を行ない、店内でのお楽しみ企画も賑わうきっかけとなり大いに盛り上がりました。



職員の声

オープニングイベント「押切八幡太鼓保存会ジュニアチーム」の皆様による、和太鼓の演奏。とても迫力があり、鳥肌が立つほどでした。店内では試食会やミニゲームなど、さまざまな取り組みができました。

ミオクチーナ下野東店 店長
石川 祐也



今をよりよく、より豊かに、 自分らしく生きるために

マネー講座を開催している「しずおかLPAの会」と(株)コープライフサービスが協力して、終活セミナーを行いました。おうちCO-OP田方センター(田方郡函南町)の協力で地域へチラシ配布したところ、たくさんの応募がありました。午前・午後の2回実施により応募者全員に参加いただきました。



この取り組みがきっかけで、2月に葬祭会館「ラビユー沼津千本」でおうちCO-OP沼津センター(沼津市)と試食会を開催し、72名の地域の皆様に楽しんでいただきました。

東部2エリアコーディネーター
麦島 幸枝



平和への思いを共にする 「ヒロシマ・ナガサキ平和の旅」

「ヒロシマ平和の旅」は、2日目の朝に「広島平和記念式典」、夜には「ピースメッセージとうろう流し」、3日目は平和記念公園や原爆資料館などを見学しました。そして9月には「ヒロシマ平和の旅」「ナガサキ平和の旅」に参加した組合員が集まって、学んだこと、感じたことを写真を見ながら振り返り、平和への思いを深めました。

組合員の声

広島2日目の夜にとうろう流しを見ました。私の願い「世界が早く平和になりますように」が早くかなうといいなと思いました。
小学生Mさんの感想

環境や人、社会に配慮した商品で、 食と地域のつながりをつくります

静岡県が主催する「ふじのくに消費者教育推進フォーラム 意識を変えて未来を変える～始めようエシカル消費～」にて「ユーコープセレクト シン 静岡県産こだわりの純米大吟醸」「CO・OPミックスキャロット」「CO・OP応援食クッキー」を展示しました。ユーコープが行う地産池消や森林保全、人の「生きる」を支える取り組みも紹介しました。

組合員の声

講座で紹介していた森林を守る取り組みを示すマークが、商品にどのように表示されているのかが分かりました。
受講者の感想

お酒造りのこだわりが分かったよ 「コープの体験・学ぶ会」

「ユーコープセレクト シン 静岡県産こだわりの純米大吟醸」は、浜松市の田んぼで育った酒米を使い、地元の酒蔵で造られています。12月に組合員と職員が産地へ行き、田植えや収穫体験、酒蔵見学を通し、原料の生産からお酒ができるまでを学びました。特に田植えは、初めて経験した参加者が多く、田んぼの土の感触を楽しみました。

職員の声

酒蔵見学では、地元の水、米、人で造る、という強いこだわりや生産者の顔が見え、それが安全・安心につながり、交流が生まれ、信頼が高まっていると感じました。

2018年度新入職員

望月 咲帆 (左)

鈴木 光 (右)



おうちCO-OPの各センターで お祭りを開催しました

おうちCO-OP浜松南センター(浜松市南区)では、交通安全教室やトラック乗車体験、冷凍庫「ヒエヒエ」体験、名前入り缶バッジ作りなどで参加者に楽しんでいただきました。試食コーナーでは「ユーコープセレクト シン 指定産地米と国産具材の香ばしチャーハン」や「CO・OP たこたっぷり! 手焼きたこ焼」などコープの商品を味わいました。

職員の声

初めての取り組みでとても不安でしたが、「楽しかったです」「また開催してください」とうれしい言葉と参加したスタッフの笑顔を見て、疲れが飛びました!

おうちCO-OP浜松南センター
センター長 原田 薫



「わたしの町を良くするしくみ」赤い羽根共同募金

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、地域福祉に取り組む民間団体を応援する「赤い羽根共同募金」への協力を呼びかけています。県内全ての店舗とおうちCO-OP合わせて66,144円(2019年2月28日現在)の募金が寄せられ、社会福祉法人静岡県共同募金会に寄付しました。



静岡県内の17店舗で募金活動に取り組みました

「地域の拠点」としてリニューアルオープン! ちづか店(甲府市)

ちづか店は地域や組合員の期待に応える「地域の拠点」として2018年7月26日にリニューアルオープンしました。地域から「ユーコープがあってよかった」と頼りにされる拠点づくりをめざしています。ちづか店、やまなし県本部、宅配センターが連携して毎月、月末の土曜日にイベントを開催し、衣料の販売やくらしの相談会、組合員の健康づくりなどに取り組んでいます。10月からは買い物に来るのが大変な組合員に送迎サービスを実施しています。



リニューアルオープンテープカットの様子

組合員の声

買い物に困っていたけど、送迎していただくようになり助かります。そして重たいものを玄関まで運んでくれる親切な応対が一番うれしいです。車内での会話も楽しみの一つ、幸せです。 原 茂さん

生産者と組合員が交流! 「コープで体験・学ぶ会」

組合員が産地へ行って、生産者と直接交流し、商品の良さ、商品へのこだわりを知っていただく企画として「コープで体験・学ぶ会」を実施しました。商品づくり推進部の協力で2018年度は「香味園 新茶茶摘み体験(5/27)」「ナガノトマト収穫体験(8/10)」「フジクレール(ワイン)収穫体験(9/24)」の3企画を実施し、組合員が収穫体験を通して生産者と交流を行いました。



ナガノトマト収穫体験の様子

夏休みの小学校放課後児童クラブで 食育学習

地域の期待に応える取り組みとして甲府市と笛吹市から依頼があり、小学校放課後児童クラブでの食育学習を実施しました。夏休み期間中11校(参加児童331名)で、^{くになか}国中エリアコーディネーターを中心に組合員理事や組合員活動委員も含め、やまなし県本部全体で取り組みました。食育に関するカードゲームや簡単につくれるおやつ作りを行い、子どもたちは食べることの楽しさ・大切さを学びました。



旬の野菜当てカードゲーム



簡単おやつ作りの様子

被災地ふくしま訪問

東日本大震災から8年目を迎えた被災地福島県を訪問しました(組合員とご家族32名)。コープふくしまの役職員に添乗してもらい、震災時の様子や復興までの道のりをお話していただきました。参加者から「現地のコープふくしまの方から直接お話を聞くことができ、貴重な経験になった」「福島を今を直にみて話を聞くことができ、現実にショックを受けましたが、あらためて考える機会になりました」と感想が寄せられました。



お店も営業しておらず生活感のない街並み



コープふくしまの役職員と一緒に記念撮影

環境をテーマにした地域のイベント 「エコ昭和」に出展

2018年4月29日昭和の日に、山梨県中巨摩郡昭和町の昭和町押原公園で開催された「エコ昭和」に出展しました。環境にやさしい「アクリルたわし」の製作体験やおうちCO-OP甲府センター（甲府市）・若草センター（南アルプス市）とも連携し、配送トラックの乗車体験のほか、ヒバクシャ国際署名活動も行いました。

配送トラックの乗車体験



夏休みバス企画 「リサイクルセンター見学とよこはま動物園ズーラシア」

夏休みを利用し、国中エリアコーディネーターが「おうちCO-OPリサイクルセンター見学とよこはま動物園ズーラシア」バス企画を実施しました。リサイクルの取り組みについて小学生にも分かるよう丁寧な説明の他、仕分け作業の体験、牛乳パックを使った紙すき体験を行いました。ミアクチーナ南林間店（大和市）のお弁当を昼食に、午後は動物園に行き参加者に喜んでいただけた企画となりました。

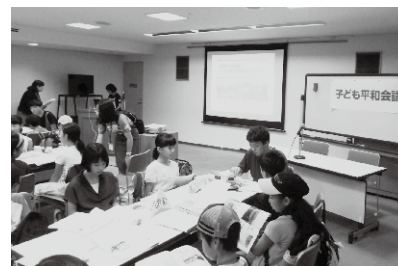
組合員の声

実際にチラシの仕分けを体験してみて、皆さんの作業の速さに驚きました。夏休み、子どもに良い勉強の機会を与えていただき、ありがとうございました。

参加者の声

ヒロシマスタディーツアー

夏休みを利用して、未来を担う子どもたちが実際にヒロシマを訪れ、原爆のことや平和のことを学びました。山梨から小学6年生の4名がヒロシマで開催された「子ども平和会議」に参加し、全国のお友達と「戦争や核兵器の使用など、争いごとをなくすために私たちができること」について話しあい「平和アピール」を作成しました。また、組合員から寄せられた折り鶴を慰霊碑に捧げました。



子ども平和会議の様子

行政・他団体とのネットワークづくり

富士吉田市のよしだこども食堂に商品提供をおこないました。ボランティアの方々と懇談をする中で、子どもたちへの温かさを感じることができ地域の皆で子育てを応援していることが分かりました。また、子育てを支援する都留市ファミリー・サポートセンターと共催で「親子で作るお団子作り」を開催しました。おうちCO-OP都留配送所（都留市）パート職員と組合員活動委員が参加し、十五夜のお団子を作りました。

都留市と連携した親子おだんご作り「お団子ころころ」は、都留配送所営業パートさんとおうちCO-OPの紹介を行いながら、親子で楽しめる企画になりました。

やまなし組合員活動委員
石井 さとみ



「SDGs（持続可能な開発目標）」 学習会を開催しました。

2018年10月7日、一般社団法人イマココラボの能戸俊幸氏を講師に招き、「2030 SDGs ゲーム」を開催。社会システムのあり方と物の見方や考え方、意識の変化などSDGsの本質をゲームで体感しました（参加者43名県生協連関係者含む）。2018年12月1日には、日本生協連の新良貴泰夫氏を講師に「SDGsって何だろう？」をテーマに講演を開催しました（参加者53名県生協連関係者含む）。



「2030 SDGs ゲーム」の様子

職員の声

貧困や飢餓、健康や教育、さらには安全な水、エネルギーに経済成長など難しく思われがちなSDGsをカードゲームを通じて、楽しみながら学ぶことができました。

おうちCO-OP 若草センター
センター長 杉山 修馬



2018年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと

ひろげよう! 暮らし・社会・地域のネットワーク

(2018年3月21日～2019年3月20日)

商品・食育活動(食べものの安全・安心)

企画NO	企画名	ユーコープ計		神奈川県		静岡県		山梨県	
		開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数
1	商品おすすめ会	366	31,631	350	31,064	16	567	0	0
2	おためし産直	42	3,247	30	2,584	10	623	2	40
3	おうちCO-OPのつどい	58	1,764	13	228	45	1,536	0	0
4	講習会・工場見学会	64	1,499	46	1,143	13	243	5	113
5	食べ知るコープ	51	1,022	18	275	33	747	0	0
6	コープで体験・学ぶ会	15	456	2	73	9	256	4	127
7	商品学習会	4	163	—	118	—	23	—	22
8	実感・体感 コープの食の安全探検隊	2	58 (25家族)	—	—	—	—	—	—
9	指定産地米 岩手ひとめぼれ 産地訪問	2	12	—	4	—	6	—	2

※企画No.4は、「商品活動のしおり」から申し込まれた講習会・工場見学の数字です。

福祉・子育て支援活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
10	保育活動企画数&保育を受けた人数	268	875	175	515	86	342	7	18
11	キッズ店長	19	369	6	158	7	175	6	36

平和活動・ユニセフ支援活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数	開催数(期間)	参加人数
12	ヒロシマ・ナガサキの被爆者が訴える核兵器廃絶国際署名	3月20日 までの累計	194,066	—	101,565	—	67,150	—	9,214
13	平和学習会・報告会、平和のつどい	26	3,175	18	2,815	2	171	6	189
14	ピースリレー・平和行進	5/7～5/31 7/11～7/19	388	5/7～5/19	292	5/19～5/31	35	7/11～7/19	61
15	ヒロシマ・ナガサキ平和スタディツアー、 ヒロシマ・ナガサキ平和の旅	8/4～8/11	32	8/4～8/6 8/7～8/9	12	8/5～8/9 8/9～8/11	16	8/4～8/5	4
16	3・1ピキニデー	3月1日	11	—	2	—	8	—	1

※企画No.12の県本部欄の署名単数は、県別(宅配センター・店舗・県本部)に集めた数字です。これに本部で集めた筆数を加えた数字をユーコープ計として記載しています。

環境活動

企画NO	企画名	ユーコープ計	神奈川県		静岡県		山梨県	
		数量	開催数(期間)	数量	開催数(期間)	数量	開催数(期間)	数量
17	フードドライブの取り組み	4,490kg	—	2,816kg	—	1,626kg	—	48kg
18	ペットボトルキャップの回収と「認定NPO法人 世界の子どもにワクチンを日本委員会」へ売却益を寄付	ポリオワクチン 17,320人分	—	—	—	—	—	—

学びあい・つたえあい活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数	開催数	登録数 参加人数
19	講師登録数	—	131	—	36	—	86	—	9
20	講座開催数&参加人数	114	1,469	62	1,081	36	260	16	128

募金活動

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		期間	募金金額(円)	期間	募金金額(円)	期間	募金金額(円)	期間	募金金額(円)
21	西日本豪雨緊急募金	7/11~8/7	54,384,050	—	—	—	—	—	—
22	北海道胆振東部地震緊急募金	9/12~10/7	32,504,657	—	—	—	—	—	—
23	被災地復興支援募金	3/20現在	10,101,312	—	—	—	—	—	—
24	みるくぼきん(ユニセフ、国連WFP)	6/1~8/31	5,298,788	—	—	—	—	—	—
25	ユニセフ「児童労働と闘うネパール指定募金」*みるくぼきん(ユニセフ)除く	3/21~11/20	4,761,532	—	—	—	—	—	—
26	ユニセフ一般募金*定期募金含む	3/20現在	19,217,096	—	—	—	—	—	—
27	ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金	12月	93,123	12月15日	29,911	12月16日	41,475	12月8日	21,737
28	ユニセフ「暴力と虐待から子どもを守るカンボジア指定募金」*お年玉募金含む	3/20現在	6,748,802	—	—	—	—	—	—
29	平和の募金	3/20現在	4,914,813	—	2,944,488	—	1,620,408	—	349,917
30	うなぎぼきん (国立研究開発法人「水産研究・教育機構」)	7/2~8/7	1,719,011	—	—	—	—	—	—
31	石巻グリーングループの会への募金	年間	50,000	—	—	—	—	—	—

復興支援活動(被災地・県内)

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数	開催数	参加人数
32	「ふれあいサロン(喫茶)」への銘菓などの送付(岩手・宮城・福島)	21	164	7	66	11	89	3	9
33	福島訪問	5	148	2	45	2	71	1	32
34	ふれあいサロン参加ボランティア登録&参加数	登録 62	参加 19	登録 35	参加 10	登録 22	参加 9	登録 5	参加 0
35	放射性物質摂取量調査	—	10	—	5	—	3	—	2

つながる活動・ネットワーク

企画NO	企画名	ユーコープ計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数	開催数 (グループ数)	参加人数
36	行政諸団体連携企画	93	9,823	54	9,009	17	345	22	469
37	ユーコープふれんず(登録数・登録人数)	778	6,304	501	4,329	250	1,793	27	182
38	店舗くらぶ(登録数・登録人数)	37	471	32	429	5	42	0	0
39	エリア会スタートの会	16	466	14	410	1	32	1	24

広報でつながる活動

企画NO	媒体名	mio		ぷらすmio					
				かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
40	mio・ぷらすmio 発行部数(単位:万冊)	月平均	累計	月平均	累計	月平均	累計	月平均	累計
		54.9	659.4	28.7	344.3	19.8	237.7	2.9	44.5
41	ぷらすmio (発行回数・イベント参加案内の掲載数)	3県合計		かながわ県本部		しずおか県本部		やまなし県本部	
		発行回数	掲載数	発行回数	掲載数	発行回数	掲載数	発行回数	掲載数
		39	708	12	429	12	199	15	80

2018年度 数値でみる 私たちの取り組んだこと

神奈川県で取り組んだこと

(2018年3月21日～2019年3月20日)

商品・食育活動(食の安全・安心)

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	商品学習会(エリア会主催)	104	5,413
2	食育学習会・食DE健康	35	3,841
3	おしゃべりの種セット 学習会	—	13,148
4	ヤマのがっこう(秦野)	11	493
5	伊勢原米作って食べちゃう会	4	346
6	ユーコープ職員による学習会	2	36
7	ヤマのがっこう(小田原)	1	38

子育て支援活動(応援)

企画NO	企画名	開催数	参加人数
8	子育てひろば	77	1,650
9	子育て支援企画	38	1,138

福祉活動(くらしすけあい活動)

企画NO	企画名	開催数(時間)	参加人数
10	ちょボラ活動延べ時間・人数	12,878	9,817
11	ちょボラサポーターズ	—	1,504
12	ボランティア登録数	—	307
13	ちょボラコーディネーター・スタッフ	—	45
14	福祉活動企画・学習会	22	330

環境活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
15	環境展・環境学習	13	2,701

平和活動

企画NO	企画名	開催日(期間)	参加人数
16	原爆と人間展	8/24～8/27	10,500
17	平和のつどい	8月～2月	1,876

くらしの力活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
18	LPA企画活動	13	290
19	くらし見直し講演会	2	123
20	LPA活動メンバー	—	4
21	おこづかいゲーム	1	14

学びあい・つたえあい活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
22	学びあい・つたえあい講座	62	1,081
23	テーマ講師による講座	3	38

募金活動

企画NO	企画名	期間	募金額(円)
24	カレンダー募金	12月～1月	879,399

復興支援活動(被災地・県内)

企画NO	企画名	開催数(期間)	参加人数
25	被災地支援活動	3	919
26	防災・減災活動学習会	15	811

つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
27	コープケーション	6	334

静岡県で取り組んだこと

商品・食育活動(食の安全・安心)

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	おしゃべりひろば	120	1,061
2	ユーコープ職員による学習会	6	111

子育て支援活動(応援)

企画NO	企画名	開催数	参加人数
3	子育てひろば	58	1,066

平和活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
4	9・23焼津行動	1	8
5	平和のつどい	1	160

くらしの力活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
6	FP入門講座・FP3級講座	21	201
7	くらし見直し講演会	3	78

募金活動

企画NO	企画名	期間	募金額(円)
8	難病支援募金	2/21~3/20	118,014
9	赤い羽根共同募金	12/1~12/31	66,144

復興支援活動(被災地・県内)

企画NO	企画名	実施	参加人数
10	防災減災活動	4	43

つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
11	まつり、諸団体連携	2	1,535
12	エリア企画	132	2,850

山梨県で取り組んだこと

商品・食育活動(食の安全・安心)

企画NO	企画名	開催数	参加人数
1	学校関係から依頼の食育学習	13	419

環境活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
2	エコ昭和2018(昭和町)	1	108
3	山梨県民の日記念行事(山梨県)	1	236
4	ライトダウンやまなし	1	70

福祉活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
5	買い物支援サポーターおつかいありさん活動数と延べ活動参加人数	18	35
6	買い物支援サポーターおつかいありさん利用者数	18	41

広報活動・平和活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
7	ユーコープふれんず通信(発行回数・部数)	4	182
8	「高校生が描いた原爆の絵」展	2	1,200

つながる活動

企画NO	企画名	開催数	参加人数
9	ユーコープふれんずオープン企画	39	312
10	エリア企画	14	253
11	スプリングカフェ(スタートの会)	1	24

2019年度 おうちCO-OP宅配事業本部事業計画

【指針1】 組合員に関心を持ち、喜んでいただけたか、役に立てたのかということを意識できる職員をめざします。また、働く仲間同士でも、できていることに目を向け、お互いの仕事を理解し合うとともに、認め合い、素直に学び合い、お互いに成長し合える関係をつくりあげます。

【施策1】 宅配センターの担当者(職員・パート職員)は、考えること、実践すること、他者からの学びを通じて、生協職員として自ら成長します。そのために、組合員や仲間に関心を持つこと、自分自身の感度(気づく力)を磨くこと。そして、組合員や相手の方一人ひとりに合った対応を自ら考え、判断し、まずはやってみる、行動する中で工夫し続けます。

【施策2】 宅配センターの担当者(職員・パート職員)は、自分の仕事が組合員のくらしにつながっていること、多くの人たちとの協力で成り立っていることを理解します。そのために、宅配センターの他部門の仕事や関連・後方部局の仕事を見る、聞くことで、それぞれ仕事や取り組んでいることを認識します。

【施策3】 センター長・マネジャー、そしてエリア部長は、一人ひとりの成長の後押しと、宅配センターの管理者・責任者として自センターの経営に責任を持ちます。そのために、一人ひとりの担当者に関心を持ち見続け、その実践にスポットを当てます。また、数値結果や現象だけに捉われず、その要因を掘り下げ、効果的、且つ、具体的な行動計画を組み立てます。

【施策4】 本部部局は、組合員の思い、現場で働く人の思いを受け止めつつ、収益性を考慮した企画・運営を行います。そのために、声を聴き、事実を把握し続けるとともに、企画力・運営力を高めます。

【施策5】 安心な地域、安全・安心な職場を実現します。そのために、働く全員が守るべきことを徹底します。

【指針2】 組合員視点での事業、組合員に寄り添った事業を展開し、より長く、より多くのユーコープとの接点を持っていただけるように取り組みます。また、現場と本部が連携し(同じ使命感を持ち)、組合員に喜んでいただくことを自分たちの喜びと感じられる働き方をめざします。

【施策1】 安心してご利用いただける配送と、喜んでいただける対応をめざします。そのために、組合員の求めていることや願いにお応えできるコミュニケーションや実践、仕組みづくりとその活用を行います。

【施策2】 利用したい、利用しやすい、うれしいと感じていただける商品提供を行います。そのために、組合員の声を積極的にお聞きし、品ぞろえや買い場づくり(カタログやWeb)、プロモーションに磨きをかけます。あわせて、配送担当者による商品のお知らせを行い、ユーコープのファンづくりを推進します。

【施策3】 組合員の声にお応えして、組合員の不満やストレスを軽減します。そのために、現場・本部がそれぞれに、または協力して、組合員の声を聴くこと、共有すること、話し合うこと、改善すること、この流れをつくります。

【施策4】 より便利にユーコープをご利用いただける商品提供と、くらしに役立つサービスを提供します。そのために、担当者の学習やお知らせ方法の工夫を行い、より多くの組合員にユーコープのサービスをお伝えします。また、店舗と連携した小規模拠点づくりにチャレンジします。

【施策5】 おうちCO-OPは、地域の一員として地域の人たちに喜んでいただける行動を心がけます。そのために、地域に住んでいるパート職員とともに、地域とのつながりをつくり、積極的な関わりを持ちます。

【指針3】 宅配センターでの働き方改革や事業構造の変革、配送を中心とした体制確保を行い、持続可能な事業をめざします。

【施策1】 組合員や地域の組合員との関わりを深めるとともに、生協職員としての総合力を高めます。そのために、宅配センター職員の役割・責任を、職種ごとの縦割りから地域担当制へ変更します。2019年度は、2センターで先行スタートし、現場と本部が協力してつくりあげます。

【施策2】 組合員に安心してご利用いただくために、配送体制を安定させます。あわせて、配送効率を改善します。そのために、エス職員やシニアアルバイト、営業担当者の配送業務への関わりや供給パート職員の増員、オペレーション変更を行います。

【施策3】 単増者数へのこだわりから、利用組合員数、利用金額を大切にできるお仲間づくりに進化させます。そのために、間接的な費用や利用状況の低いお仲間づくり手法への費用投入を絞り込み、その原資を継続的なご利用へのプロモーションに投入し、検証します。

【施策4】 宅配センターがより地域に密着した運営を行えるように、また、老朽化やキャパシティ上の問題を解決するために、宅配センターの建て替えや、将来に向けた配置計画を作成します。

【施策5】 配送体制の安定と配送品質の向上、毎年上昇し続けている人件費単価への対応として、2020年度に向けたサービス料の見直し(値上げ)を検討します。

2019年度 店舗事業本部事業計画

【指針1】組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

- 【施策1】経営基本方針のもと、自ら学び、先ずやってみる、主体性を重視したマネジメントを進めます。
- 【施策2】組合員の声を聴き、広め、つながりを強めることができる店舗での仕事にやりがいを感じられる組織風土をめざします。
- 【施策3】店舗が地域の拠点として役割が果たせるよう、地域のことや地域での組合員活動をよく知り、つながりを深めます。
- 【施策4】店長の予算や施策検討への参画をつよめ、現場と本部が一体となった運営スタイルをめざすとともに、店長自らが自店の不具合改善が進められるように、教育体制と学習機会づくりを進めます。

【指針2】店舗事業は宅配事業と協力し、組合員とのつながりを深め地域の拠点として役割を果たします。

- 【施策1】個店ごとの店舗再生計画に基づいた実践を重ね、数値目標をものさしに店舗事業構造の改革を進めます。
- 【施策2】利用しやすい買い場の改善や発注技術の向上、作業の見直しなどの工夫や改善を積み重ね、日常の店舗運営力を高める取り組みを進めます。
- 【施策3】店舗と宅配センターが協力し、地域の拠点として役割が果たせるよう、地域の組合員に利用しやすい拠点づくりを進めます。
- 【施策4】地域での組合員へのお役立ちを高めるために、地域にあわせた店舗の改装・修繕を進めます。
- 【施策5】共済の日常コミュニケーションを大事にし、地域に共済の良さをお知らせし、広げます。

【指針3】一人ひとりの暮らしに役に立つため全事業が協力し合い、一体となったお仲間づくりを進めます。

- 【施策1】組合員の声や地域の要望を聴き、一人ひとりの暮らしに役立つために、店舗のお仲間づくりの施策、スキル教育、体制を強化します。
- 【施策2】組織全体で協力してお仲間づくりを進め、新しくご利用される方を増やすとともに、ユーコープの全事業の利用組合員を増やします。
- 【施策3】組合員が継続してご利用いただけるよう、期待、要望がどこにあるのかを知り、対応や買い場、商品の改善を続けます。

【指針4】くらしからの願いに応えることができる商品・品ぞろえ・買い場づくりを進めます。

- 【施策1】商品を通じた生産者、お取引先、組合員とのつながりを大事にし、ユーコープならではの価値を育て、広めます。
- 【施策2】全店で総菜商品の強化を進めるとともに、商品の安全・安心の価値を高めるために総菜部門の不適合削減を進めます。
- 【施策3】「組合員の声や願いが“ギュッ”とつまったユーコープオリジナル商品」として、ユーコープセレクションの価値を高めるお知らせを進めます。
- 【施策4】組合員の声に応える品ぞろえ変更や地域商品の調達にチャレンジします。

2019年度 商品本部事業計画

【指針1】組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

- 【施策1】組合員の声を積極的に集め、声に対する「感度」を高め、ニーズを継続的に受け止めて事業に生かします。
- 【施策2】「組合員にとってどうなのか？」をものさしに、難易度の高い課題に対しても粘り強く継続的に取り組みます。
- 【施策3】組合員の期待に応えることのできる人づくりを推進するため、教育訓練や人財育成への支援、できている人から「まねぶ」組織運営、商品づくりや普及のプロセスへの参加、自ら学ぶ場への参加など、多様な取り組みを進めます。
- 【施策4】自ら判断し、組合員の立場で実践したことを大切にする組織づくりを進め、「組合員に寄り添った働き方や価値観」を大切にします。

【指針2】利用が増えることで供給が増え、持続的に利益が出る構造へ転換します。

- 【施策1】両業態で、買い場構成や商品構成の変更、「総菜」をはじめとした簡便性・即食性の高い商品や「直買商品」等高収益商品の供給強化により収益性を高めます。
- 【施策2】全カテゴリーで「支持が高く利益をいただける商品」のおすすめや、コープ商品やユーコープ専売品の最適価格追求による荒利益高の最大化、調達の合理化に取り組みます。
- 【施策3】宅配は、「お買物めも」の構成や企画内容の見直し、供給企画プランに沿ったバランスの良い商品調達、「伝えること」にこだわった「価値訴求」の強化で成長性と収益性を高めます。
- 【施策4】店舗は、商品フェースや展開品目数の適正化をすすめつつ、地域や個店ごとに応じた品ぞろえ改善や「総菜」をはじめとした高収益商品の提供強化の推進、「拠点づくり」を通じ店舗再生に向けたモデルづくりに取り組みます。
- 【施策5】組合員が利用しやすくなり職員が働きやすくなることで、事業の生産性が高まるよう、現場の事実を素早く掴んで仕事に反映します。

【指針3】くらしからの願いに応えることができる商品づくりと品ぞろえを進めます。

- 【施策1】ユーコープの組合員の声や願いが“ギュツ”とつまったユーコープオリジナル商品、「ユーコープセレクション」や「産直・産地指定商品」の開発・再開発・お知らせの強化に取り組み、他との差異化を図ることでユーコープファンを増やします。
- 【施策2】地域での組合員の活動やくらしをよく知り、要望をとらえ、品ぞろえや商品づくりに反映させることで、組合員とのつながりの深いユーコープの組合員のための商品を、利用しやすい規格で展開します。
- 【施策3】宅配では「即食」「食材キット」など簡便商品強化を中心に、「冷凍食品」や「健康」をテーマにした品ぞろえの強化、「地場・地元商品」の強化、Web(媒体・アプリ)も活用した利用しやすい買い場づくりや情報の提供(こだわり、関連陳列、楽しさの提供)を進めます。
- 【施策4】店舗では、「くらしにマッチした利用しやすい選びやすい買い場づくり」を中心に、「鮮度改善」、「総菜強化(アウトパック総菜^{※6})」、「即食性の高い加工食品」、「店内調達品活用」、「簡単に調理できる加工済み商品やキット商品の強化」、「NB商品価格の適正化」に取り組みます。
- 【施策5】組合員の要望に応えた商品づくりや事業を支援するための品質保証に取り組みます。

【指針4】 社会的役割を発揮します。

- 【施策1】 商品開発や改善、普及活動や学習・交流における、多彩な組合員や職員参加の取り組みを進め関わります。
- 【施策2】 商品を中心にした共感の広がりをつくり、内外のコミュニケーションを組織全体で進め、ユーコープファンを増やす取り組みを進めます。
- 【施策3】 ユーコープならではの商品開発や政策の展開を通じて、組合員を真ん中に据えた取り引き先や産地、地域とのネットワークを広げ、結びつきを強めます（「商品づくり」から、利用データを活用したお取引先との多様な協同のお取り組みまで）。
- 【施策4】 法改正や消費税増税などの対応、「2030年に向けた環境基本政策」に沿った取り組みを進めます。

2019年度 バックアップ本部事業計画

【指針1】 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。経営基本方針に基づき、引き続きこころのベクトルを合わせることを大切にしながら、技術が高まる支援を強めます。

- 【施策1】 働きやすい職場となるよう、コミュニケーションの機会を増やし協力し合う組織風土づくりを進めます。
- 【施策2】 仲間の行動で心が動いた事例の共有や、学びたい人に学ぶ取り組みを進め、気付きの感度を高めて組合員の期待につながる取り組みを広げます。
- 【施策3】 自信をもってユーコープの安全・安心を語り、組合員の期待に応えることができる人づくりを推進するため、食の基礎的な知識について自ら学ぶ機会を増やします。
- 【施策4】 担う役割・責任を果たすための職員育成を進めます。

【指針2】 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。「私たちがめざしていきたいこと」の実現に向けて、限りある経営資源を有効に使い、事業の生産性を高める取り組みを推進します。

- 【施策1】 限りある経営資源を有効に使う視点で「やめる」「変える」を推進し、本部事業経費執行を進めます。
- 【施策2】 事業の生産性を高める取り組みを積極的に推進し、組合員に向き合う時間を生み出す支援を進めます。
- 【施策3】 組合員が利用しやすくなり、職員が働きやすくなるよう、現場の事実を素早く掴んで仕事に反映します。
- 【施策4】 事業が持続的に継続できるよう安定した資金調達の構築と、効率的な資金運用で資金を循環させます。

【指針3】 社会的役割を発揮します。適切な法令対応、コンプライアンス経営を推進します。

- 【施策1】 法改正対応を実務的に進めます。
- 【施策2】 ユーコープBCP^{*7}の実効性を高めるため危機管理チーム会の運営を見直し、危機対応への準備を進めます。
- 【施策3】 適正な契約管理、資産管理を進め資産の保全を図るとともに、開発・改装案件に関する全体方向性の組織内協議と情報共有を進めます。

2019年度 参加と連携推進本部事業計画

【指針1】組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。

- 【施策1】組合員の声を聴き、暮らしをよく知り、より多くの組合員から共感を得られる組合員活動と広報活動を進めます。
- 【施策2】職員や組合員活動をサポートする組合員活動委員、エリアコーディネーターの学習を進め、組合員活動の広がりを推進します。
- 【施策3】新たな通信環境の活用や業務の整理、事務のIT化を進め、業務の効率化と働きやすさを前進させます。

【指針2】地域での組合員参加と組合員活動の広がりを推進します。

- 【施策1】商品を中心とした多種多様な活動を通じて組合員参加を広げるとともに、気軽に商品や暮らしの知恵を伝え合えるような、生産者、お取引先、組合員同士のつながりと商品の輪を深め広げます。
- 【施策2】組合員活動や諸会の場への職員参加の推進や、店頭でのおすすめ会など、事業と活動が一体となった取り組みを進めます。
- 【施策3】参加して良かったと思っただけの総代会（総代懇談会）運営と、総代の担い手を広げます。

【指針3】地域や組合員の暮らしをよく知り、地域社会に貢献します。

- 【施策1】食育や健康、安全・安心といった組合員の関心の高いテーマについて、情報発信と組合員参加を進めます。
- 【施策2】地域の取り組みへの参加や平和、環境、被災地支援など、ユーコープに期待される役割に事業と一体となって取り組み、地域社会に貢献します。
- 【施策3】行政や諸団体と連携し、ボランティアや家事支援、フードバンクなど、暮らし、地域、社会を包括したネットワークづくりに貢献します。

【指針4】内外コミュニケーションを進め、ユーコープファンの輪を広げます。

- 【施策1】ユーコープの取り組みを広くお知らせし、ユーコープの事業と活動に対する認知と理解を広げます。
- 【施策2】経営基本方針の実践や組合員の声や活動に生かされていることを、組合員や職員が実感できる取り組みを推進します。
- 【施策3】Webを活用した組合員参加や情報共有など、新たな組合員参加とコミュニケーションにおいて、広がりをつくります。

【指針5】福祉事業は暮らしに寄り添える持続的な事業が展開できるよう人づくりと体制づくりを進めます。

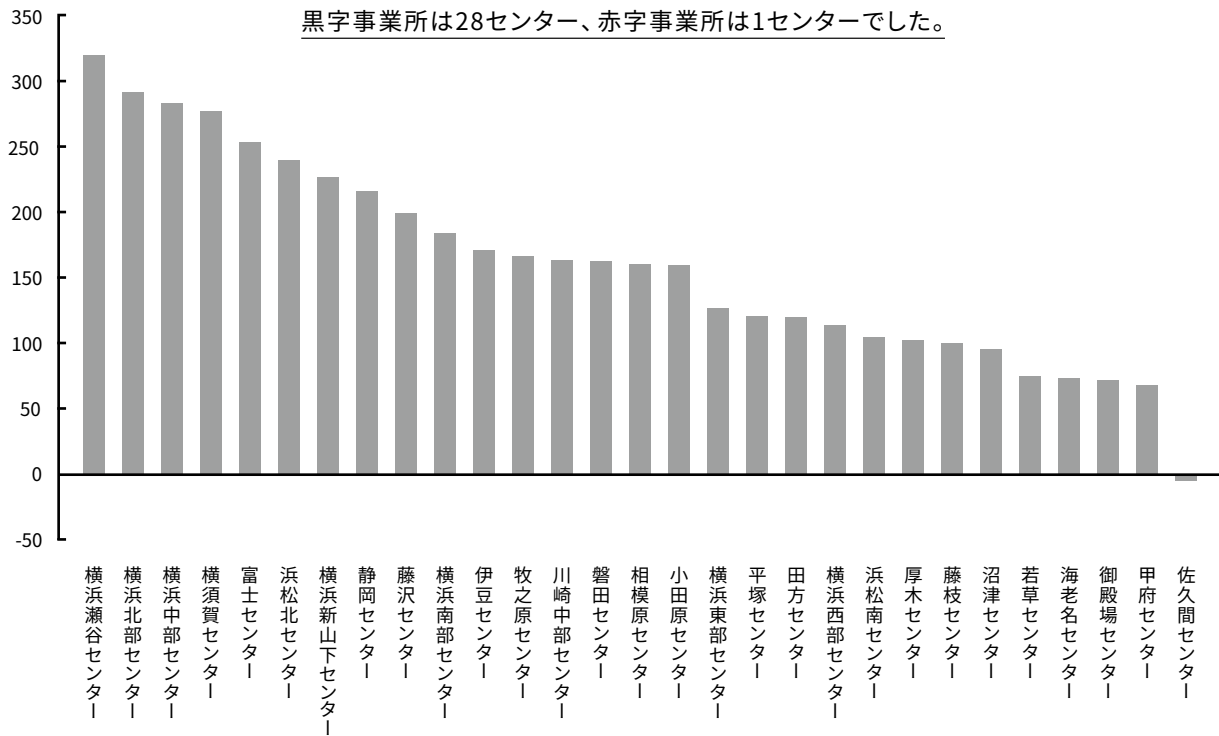
- 【施策1】人財の募集、採用の多様化と人財教育、働きやすい職場づくりを推進し、継続してご要望に応えられるサービス提供体制を整えます。
- 【施策2】介護サービスの標準化を進めながら、今後の報酬改定を踏まえた事業構造づくりを進めます。
- 【施策3】医療機関、地域諸団体との顔の見える関係づくりを進め、地域の利用者に寄り添ったサービス提供をめざします。
- 【施策4】宅配事業や店舗事業、サービス事業と相互に連携し、より利用しやすいサービスの提供と地域の中に組合員の輪を広げます。

2018年度 事業結果(事業所別 経常剰余実績)

宅配センター 事業所別 経常剰余実績

(百万円)

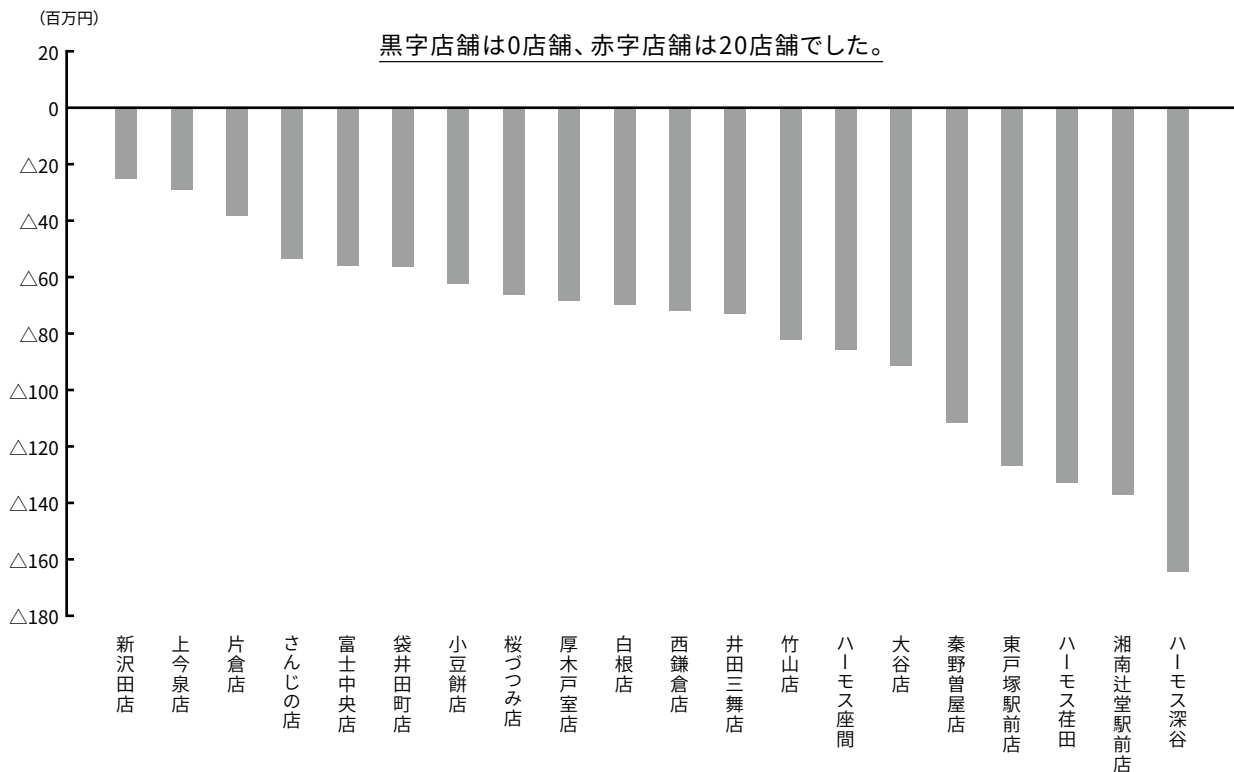
黒字事業所は28センター、赤字事業所は1センターでした。



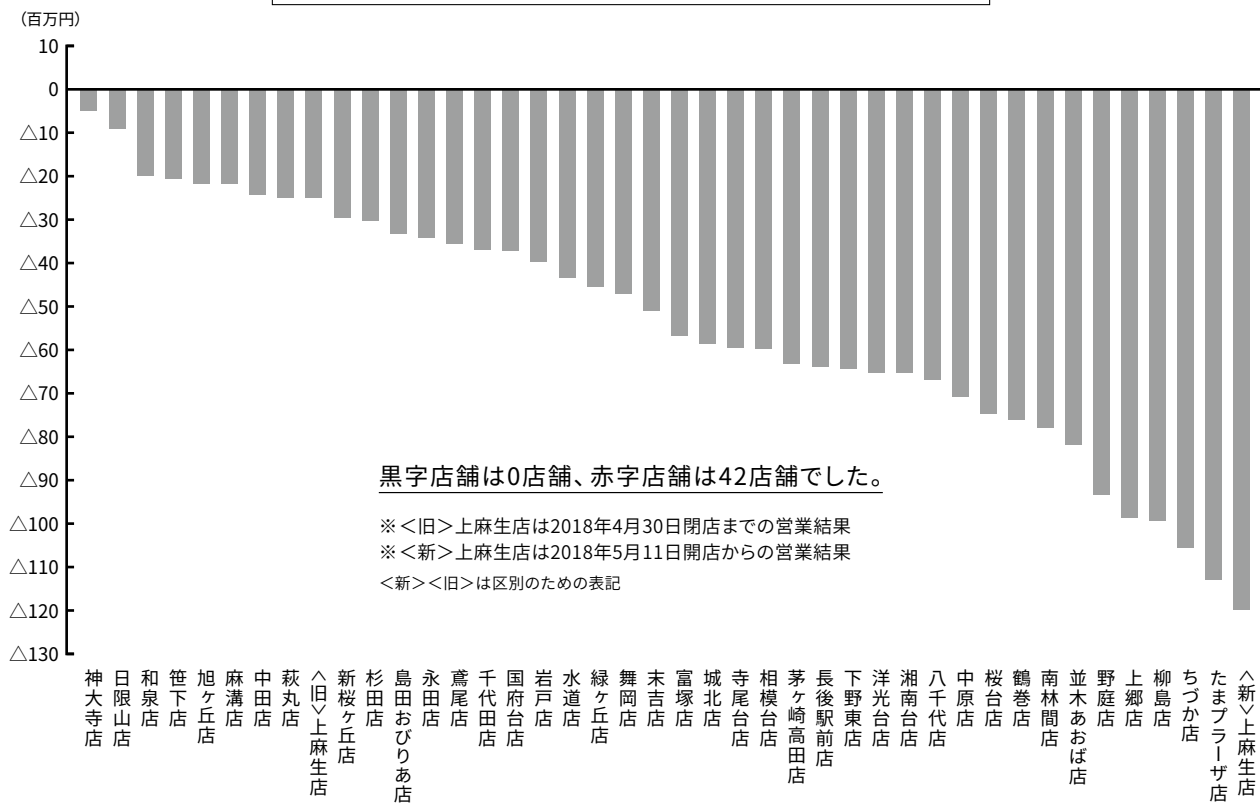
大型店 事業所別 経常剰余実績

(百万円)

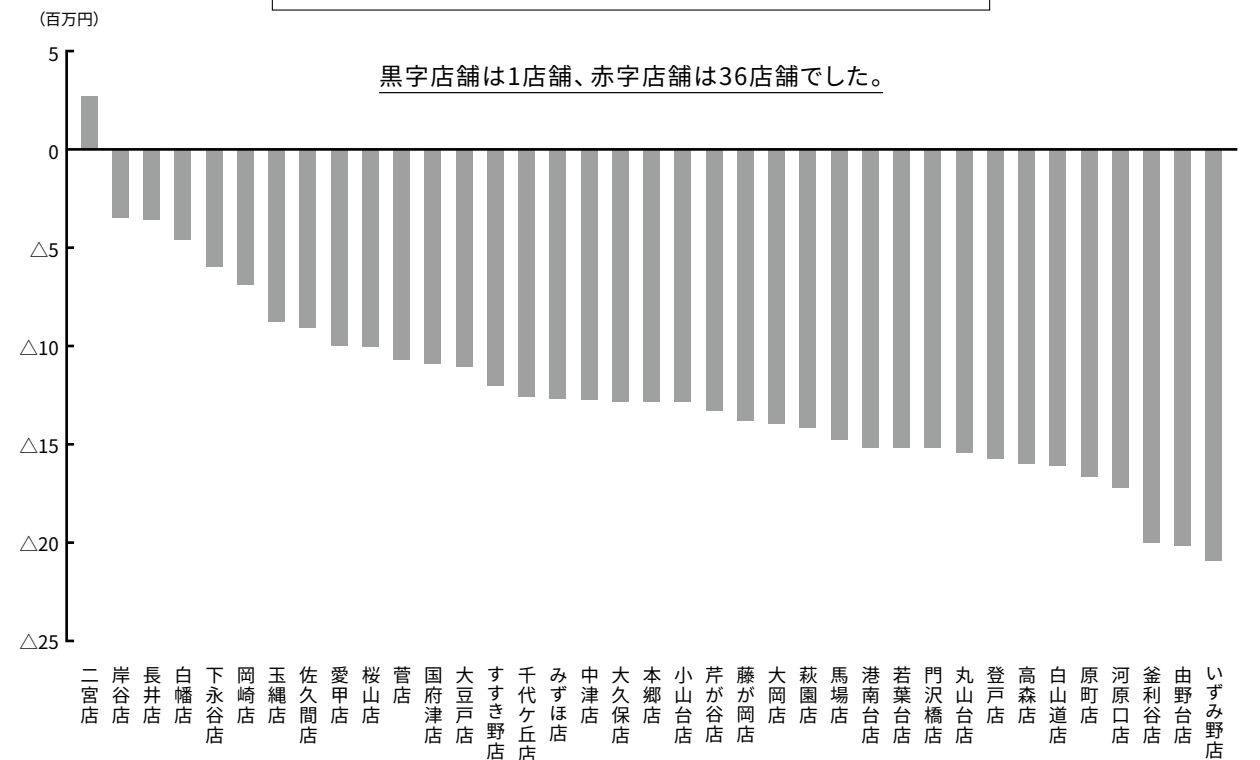
黒字店舗は0店舗、赤字店舗は20店舗でした。



中型店 事業所別 経常剰余実績



小型店 事業所別 経常剰余実績



2018年度 監事監査活動のまとめ

生活協同組合ユーコープ 監事会

監事は、理事とは職責を異にする総代会で選任された独立した機関として、生協の健全な経営と社会的信頼の向上のために、理事の職務執行状況及び財産状況の監査を実施しています。組合員、総代の皆さまに、監事監査活動のまとめを報告いたします。

2018年度監事監査方針は、以下のように策定しました。

1. 経常監査項目(監事の義務として毎年実施しているもの)

- (1) 機関会議(総代会、理事会)および重要な諸会議への出席、不正行為や法令・定款違反の有無
- (2) 事業計画・予算進捗の状況
- (3) 内部統制システムに関する理事会決議の相当性および構築運用状況における不備の有無
- (4) 財産の保全・管理状況(重要な資産の取得・運用、資金の調達・運用、日常の経理処理)および新会計基準の適用等
- (5) 競争取引、利益相反取引、非通例的取引、無償の利益供与等の理事会での承認手続

2. 重点監査項目

- (1) 第1次中期経営計画 最終年度(店舗事業は店舗再生計画初年度)の事業計画進捗状況
 - ・宅配事業のお仲間づくり数・純増数・利用単価・事業経費(人件費を含む)、および構造改革に向けた中長期課題の検討状況並びにそれらの進捗状況
 - ・店舗事業のお仲間づくり数・来店者数・荒利益率、並びに上麻生店(5月)・ちづか店(7月)の改装後の事業進捗、および各店舗再生計画の進捗状況
 - ・次期中期経営計画づくり、ユーコープのグランドデザインの検討状況
- (2) リスク管理・法令遵守状況(子会社等も含む)
 - ・子会社等も含めたリスク管理・法令遵守、食品安全管理、労務管理(職員の働き方改革等)
 - ・ダイバーシティ推進状況

監事監査方針に基づき、以下のように監査活動を実施しました。

1. 監事会の開催…監査計画・監査意見等の審議と必要な協議・決定

- (1) 開催日(13回開催)
4月10日、4月24日、5月2日、5月21日、7月9日、7月20日、9月10日、
10月5日、11月5日、12月7日、2019年:1月21日、2月8日、3月5日
- (2) 主な議題
 - ・理事会議案、理事会の審議状況、および毎年度の経営状況の審議
 - ・監事監査方針、重点監査項目、監査計画の審議(事業所往査、本部部局監査等)
 - ・内部監査室より業務監査結果の聴取
 - ・監査法人の監査の方法、および結果の相当性についての審議
 - ・監査報告書、監査意見書の審議
 - ・監事報酬の配分に関する審議、監査法人の監査報酬額の審議

2. 重要諸会議への出席…審議・議決は適切に行われているか(業務監査)

理事の職務執行の状況を把握するため、総代会、理事会等の重要な諸会議に出席し、会議運営・議決が法令・定款等に従って行われているか、理事が善管注意義務を果たしているか等を監査しました。

3. 常勤理事・監事懇談会…経営課題・内部統制等について意見交換

事業の執行状況、重要な経営課題について、代表理事理事長、代表理事専務、常務理事と率直に意見交換しました。

(1)開催日 7月31日、9月14日、2019年2月12日

(2)主な議題

- ・経営全般(進捗評価、課題と方向性など)について
- ・店舗事業の課題と方向性について

4. 事業所往査…経営基本方針の具体化、事業計画進捗、業務の妥当性(業務監査)

おうちCO-OP富士センターの事業進捗や法令・マニュアル等の遵守状況を中心に監査しました。上麻生店およびちづか店では、改装後の事業進捗や買い場づくり、組合員の評価などを聞き取り、監査しました。

5. 本部部局監査…経営基本方針の具体化、事業計画進捗、業務の妥当性(業務監査)

宅配運営部、宅配事業本部かながわエリア・しずおかやまなしエリア、店舗運営部、店舗商品部、店舗事業本部第1・第5エリア、未来創生部、事業管理部の監査を行い、事業計画の進捗、課題について対策の検討状況等を中心に監査しました。

6. 財産の保全・管理状況の監査(会計監査)

- (1) 毎月の経営結果について、監事会で審議しました。
- (2) 上期及び下期の経営結果について関係部局より報告聴取するとともに、稟議書・関係申請書等についての調査を四半期ごとに行いました。
- (3) 監査法人より期中及び期末監査結果の報告を受けるとともに、会計上の課題等について説明を求めました。

7. 内部監査室、監査法人との連携

監事会、内部監査室、監査法人の三者による「三様監査懇談会」を7月20日と2019年3月20日の2回開催しました。相互に監査方針や監査結果等を報告、意見交換し、監査の品質向上、効率化に努めました。

8. 監査報告書および監査意見書の理事会への提出

年間を通じた監査の結果を「監査報告書」にまとめ、理事会に提出しました。また、監事監査方針で設定した重点監査項目の結果については「監査意見書」にまとめ、理事会に提出しました。

9. 監査品質の向上にむけて

日本生協連の監事監査研究交流会や監事基礎研修会など、他生協の監事監査活動を学ぶことができる機会の充実に努めました。また、日本監査役協会の講演会や研修に参加し、最新の監査情報の入手に努めました。

2018年度 品質保証の取り組み

1. 商品検査

2018年度は13,734検体について検査しました(前年比115.4%)。

改善を必要とした検査結果は全体で0.2%でした。販売済み商品を回収するなどの緊急対応が必要な検査結果はありませんでした。

検査分野	検体数	改善を必要とした結果(%)
微生物検査	12,539	14件(0.1%)
残留農薬検査	423	2件(0.5%)
放射性物質検査	532	0件(0.0%)
その他	240	6件(2.5%)
合計	13,734	22件(0.2%)

(1) 微生物検査

商品特性から、微生物リスクの高い商品や品質劣化の早い商品を選定し、検査しました。店舗調理加工施設で調理している製品を年1回以上、全施設分検査を実施し、施設衛生環境の指標にしています。夕食宅配マイシィは、生産者から、組合員に届ける商品と同じものを送ってもらい、月1回の検査を継続して行いました。

(2) 理化学検査

① 残留農薬検査

グリーン・プログラム商品、コープの産直(産地指定)品や店舗買い場の地場野菜を中心に約340種類の農薬について検査を行いました。

② 放射性物質検査

国がモニタリングを継続している6県とユークープ3県を原産地もしくは加工地とする商品と、組合員の皆さんが毎日口にするデイリー商品を中心に検査を行い、結果をユークープホームページで公開しています。

③ 食品添加物検査

迎春商品を中心に、見た目に変化を与える漂白剤や発色剤、着色料を使用している商品が、商品仕様書に記載されたとおりで、国の基準に適合しているかについて確認しました。

④ 動物用医薬品検査

産地指定の精肉は抗生物質や成長ホルモン剤、鮮魚・鰻加工品などについては抗菌剤や抗生物質などの検査を行いました。鰻加工品は需要が高まる「土用の丑」直前に検査を行いました。

⑤ アレルゲン検査

おうちCO-OPで展開された「アレルゲン配慮食品」については、取り扱いと同じ生産ロット品を取り寄せ、検査を行いました。

2. 生産工場や店舗の衛生管理

(1) 店舗調理加工施設のふき取り検査 年2回・計215施設実施

ユークープの店舗で商品を製造する施設(総菜・鮮魚・精肉・ベーカリー)について、冷蔵庫の取手、包丁の柄、まな板、シンクレバーなど作業中によく触る箇所の衛生状況を確認するために、DDチェッカーという小さな寒天培地を使って、微生物の存在を検査しました。

(2) 前年不具合発生店舗への再発防止対策の有効性検証 16店舗26回訪問

前年に商品ラベルの貼り間違いや、具材の入れ間違いなどが発生した店舗に、再発防止対策が継続され実際に視察に行き、再発防止対策の有効性を評価しました。

(3) 取扱商品の生産委託工場の監査 25件実施

迎春のおせちの生産立ち合いを中心に工場監査を実施しました。

3. 商品お申し出管理**(1) 商品お申し出実績**

組合員からの商品お申し出件数は、9,756件(前年:11,366件)でした。商品お申し出は、低減傾向です。

	2018年度	2017年度	2016年度	2015年度	2014年度
お申し出件数	9,756件	11,366件	12,368件	14,359件	14,987件

(2) 回答完了日数管理

商品に不具合があり、いただいたお申し出について、下記3つの日数を週次でモニタリングして、より速やかな調査・回答をめざしました。

① 全行程(回答)完了日数 平均17.7日

……組合員からお申し出を受けて、回答終了するまでの日数

② お申し出調査日数 平均9.2日

……お取引先に調査依頼をしてから、回答が届くまでの日数

③ 事業所停滞日数 平均8.5日

……回答を事業所に戻してから、組合員に連絡するまでの日数

4. その他**(1) 夏休み親子実験教室「実感・体感 食の安全探検隊」**

夏休み期間中、小中学生の親子を対象に、商品検査センターで実験教室を開催し、2回計58名が参加しました。顕微鏡を使って微生物の観察をしたり、手洗い実験、「ゲルマニウム半導体核種分析装置」を使って野菜や果物などの放射能を測定したり、楽しく食品検査を体験しました。

(2) 組合員総代限定企画「食DE健康」

ユーコープの食の安全・安心、毎日の「食」を通じた健康づくりの情報を発信するイベントのひとつとして、商品検査センターの施設見学と「健康と食生活」に関する講演、食生活チェックの体験学習を行いました。計61名が参加し、ユーコープの「食DE健康」の取り組みを知っていただく機会としました。

(3) 組合員のくらしの役立つ情報を機関誌 mio に掲載

機関誌 mio に組合員のくらしの役立つ情報「みんなでおいしくいただくために…食のあんしんレスキュー隊」を掲載しました。商品のお申し出にまつわる情報(「お米につく虫の話や個包装切り餅にかびが生えるわけ」など)や、商品検査の報告(年末商品検査や放射性物質検査など)など、食品の「なぜ?」を通じておいしく食べていただくコツを発信しました。

市区町村別組合員数

(組合員数:2019年3月20日現在)

神奈川県

市区町村名	世帯数	組合員数	組合員数 前年差	加入率 (%)
川崎区	118,360	12,252	117	10.4
幸区	79,448	10,186	393	12.8
中原区	130,523	28,436	451	21.8
高津区	111,594	16,598	129	14.9
多摩区	111,388	19,708	347	17.7
宮前区	99,432	21,653	-52	21.8
麻生区	77,513	23,945	146	30.9
川崎市・不明		19	0	0.0
川崎市計	728,258	132,797	1,531	18.2
緑区	76,938	24,267	71	31.5
青葉区	128,289	47,886	-29	37.3
都筑区	82,544	24,372	-284	29.5
港北区	168,416	32,640	-106	19.4
鶴見区	138,035	32,810	216	23.8
神奈川区	124,129	41,189	844	33.2
中区	80,345	8,724	1	10.9
西区	54,650	8,273	9	15.1
保土ヶ谷区	95,250	31,556	-30	33.1
瀬谷区	51,159	15,227	-183	29.8
旭区	105,333	35,375	213	33.6
泉区	61,823	25,393	-104	41.1
戸塚区	117,959	51,723	615	43.8
栄区	51,015	23,197	-92	45.5
南区	98,789	20,576	90	20.8
港南区	93,073	40,138	122	43.1
磯子区	76,441	21,703	98	28.4
金沢区	87,968	28,232	-233	32.1
横浜市計	1,692,156	513,281	1,218	30.3

市区町村名	世帯数	組合員数	組合員数 前年差	加入率 (%)
相模原市緑区	73,508	16,825	-84	22.9
相模原市中央区	121,440	33,344	-156	27.5
相模原市南区	128,755	35,967	-212	27.9
相模原市・不明		145	-46	0.0
相模原市計	323,703	86,281	-498	26.7
大和市	106,513	26,195	237	24.6
綾瀬市	34,618	10,243	-66	29.6
座間市	58,381	23,824	149	40.8
海老名市	56,443	30,392	666	53.8
鎌倉市	74,341	27,942	-6	37.6
逗子市	24,547	8,947	-18	36.4
横須賀市	167,126	38,686	73	23.1
三浦市	17,481	6,154	-66	35.2
藤沢市	188,361	68,155	1,323	36.2
茅ヶ崎市	102,033	48,809	372	47.8
三浦郡	12,682	3,602	-5	28.4
高座郡	19,581	4,288	61	21.9
厚木市	99,486	34,838	-20	35.0
伊勢原市	45,134	11,647	64	25.8
秦野市	71,499	32,795	114	45.9
平塚市	111,065	31,939	156	28.8
小田原市	81,159	19,510	-23	24.0
南足柄市	16,528	1,246	51	7.5
愛甲郡	17,719	5,292	23	29.9
中郡	23,986	10,150	-26	42.3
足柄上郡	24,913	3,067	60	12.3
足柄下郡	19,988	4,542	-26	22.7
他県+不明		10,818	450	0.0
神奈川県計	4,117,701	1,195,440	5,794	29.0

※川崎市と相模原市の「不明」は、旧住所登録でデータが残っているため発生しています。

他県+不明の「不明」には川崎市・相模原市の不明は含まれておりません。

※世帯数は取得できる最新のデータとしております。

静岡県

市区町村名	世帯数	組合員数	組合員数 前年差	加入率 (%)
沼津市	82,305	30,736	772	37.3
熱海市	19,072	3,864	90	20.3
三島市	46,127	16,295	207	35.3
富士宮市	51,219	20,706	-67	40.4
伊東市	30,570	8,742	86	28.6
富士市	96,388	44,929	631	46.6
御殿場市	32,883	7,329	108	22.3
下田市	10,007	2,282	-13	22.8
裾野市	20,933	7,836	72	37.4
伊豆市	12,142	4,253	59	35.0
伊豆の国市	18,991	5,631	69	29.7
賀茂郡	11,879	4,898	51	41.2
田方郡	17,577	4,797	96	27.3
駿東郡	39,787	14,025	210	35.3
葵 区	103,978	43,632	668	42.0
駿河区	93,464	25,246	340	27.0
清水区	95,283	36,018	261	37.8
静岡市・不明	0	58	9	0.0
静岡市計	292,725	104,954	1,278	35.9
島田市	35,367	18,290	142	51.7
焼津市	52,498	17,106	-25	32.6
藤枝市	54,581	19,309	127	35.4
牧之原市	16,067	5,404	32	33.6
榛原郡	13,812	4,396	9	31.8
浜松市中区	108,444	35,229	491	32.5
浜松市東区	52,112	15,477	278	29.7
浜松市西区	39,719	13,785	124	34.7
浜松市南区	39,879	15,688	296	39.3
浜松市北区	33,537	10,942	191	32.6
浜松市浜北区	34,870	12,939	175	37.1
浜松市天竜区	11,064	4,911	81	44.4
浜松市・不明	0	56	16	0.0
浜松市計	319,625	109,027	1,652	34.1
磐田市	64,021	25,206	331	39.4
掛川市	43,511	18,014	184	41.4
袋井市	33,398	16,910	416	50.6
湖西市	22,934	5,039	26	22.0
御前崎市	11,617	3,665	24	31.5
菊川市	17,277	6,009	45	34.8
周智郡	6,316	2,779	42	44.0
他県+不明		1,200	159	0.0
静岡県計	1,473,629	533,631	6,813	36.2

山梨県

市区町村名	世帯数	組合員数	組合員数 前年差	加入率 (%)
富士吉田市	18,574	1,561	32	8.4
都留市	13,590	1,802	36	13.3
大月市	9,586	1,625	8	17.0
上野原市	9,563	1,891	-21	19.8
南都留郡	18,608	2,119	20	11.4
北都留郡	612	0	0	0.0
甲府市	85,880	17,168	961	20.0
甲州市	11,276	1,610	17	14.3
山梨市	12,990	2,113	59	16.3
韮崎市	11,878	2,102	8	17.7
南アルプス市	26,046	5,394	93	20.7
甲斐市	30,838	5,772	191	18.7
笛吹市	27,060	4,420	29	16.3
北杜市	18,730	3,444	87	18.4
中央市	13,039	2,327	30	17.8
西八代郡	5,882	1,359	30	23.1
南巨摩郡	14,004	3,060	5	21.9
中巨摩郡	8,690	1,890	36	21.7
他県+不明		106	17	0.0
山梨県計	336,846	59,763	1,638	17.7

2018年選挙区別選出総代定数

(組合員数:2018年3月20日現在)

選挙区	組合員数	定数
神奈川選挙区	1,179,278	307
静岡選挙区	525,777	170
山梨選挙区	58,036	73
総計	1,763,091	550

声明や意見書等のまとめ

	提出日	声明/ 意見書	提出先	タイトル
2018 年	6月13日	意見書	資源エネルギー庁	第5次エネルギー基本計画策定に向けた意見
	10月18日	意見書	アメリカ合衆国	アメリカ合衆国における臨界前核実験実施に強く抗議します
2019 年	2月28日	意見書	神奈川県健康医療局	2019年度 神奈川県食品衛生監視指導計画(案)への意見
	4月5日	意見書	内閣総理大臣	「核兵器禁止条約」に署名・批准することを求めます

※内容などの詳細につきましては、ユーコープホームページをご確認ください。

2019年度ユーコープのお店は 98 店舗 (2019.3.20現在)

神奈川県

静岡県

山梨県

やまなし

すべてのお店をご利用いただけます。

組合員の皆さんは3県内のユーコープの店舗すべてをご利用いただけます。
お出かけの際はお近くのユーコープのお店をご利用ください。

※地図は目安です。

店舗のご案内は、ユーコープHPをご覧ください。



- 大型店
- 中型店
- ▲ 小型店

かながわ



- ① 芹が谷店
- ② 大久保店
- ③ 下永谷店
- ④ 丸山台店
- ⑤ 笹下店
- ⑥ 日限山店
- ⑦ 港南台店
- ⑧ 野庭店

しずおか



どうぞご利用ください!



用語解説

P2

※1 LGBT

LGBTとは、性的指向を表す、女性の同性愛者 レズビアン(Lesbian)、男性の同性愛者 ゲイ(Gay)、両性愛者 バイセクシュアル(Bisexual)、そして性自認を表す、身体の性に違和感を持つトランスジェンダー(Transgender)の頭文字をとって組み合わせた言葉で、性的少数者(セクシュアルマイノリティ)を表す言葉の一つとして使われることもある。(出典:法務省人権擁護局ホームページ 公益財団法人 人権教育啓発推進センター発行パンフレット「多様な性について考えよう! ~性的思考と性自認~」から要旨を引用)

P4

※2 SDGs

「Sustainable Development Goals」の略称で、日本語では「持続可能な開発目標」と表現されます。2015年に国連で採択され、持続可能な世界を実現するために17の目標が掲げられています。これは発展途上国・先進国に関わらず、世界中全ての人々がめざす目標です。ユーコープの基本理念『『人—社会—自然』の調和ある平和な社会の実現に貢献する』は、SDGsがめざす「誰一人取り残さない」という理念、および経済・社会・環境におけるさまざまな課題を統合的に解決する考えと重なる部分が非常に多く、ユーコープが取り組み続けてきたさまざまな活動はいずれもSDGsの目標と重なります。

P10

※3 実践事例発表会

経営基本方針に沿った好事例・行動を事例の実践者が報告する会。

P25

※4 LPA

ライフプランアドバイザーの略。コープ共済連の所定のライフプランアドバイザー養成セミナーを修了した方。組合員にライフプランのアドバイスをしたり、暮らしのお金全般についての学習会を行ったり、講師として活動しています。

※5 FP

ファイナンシャルプランナーの略。家計に関わる金融、不動産、保険、年金制度など、幅広い知識を持ち、相談者をサポートする専門家。

P37

※6 アウトパック総菜

総菜工場などで加工され、組合員に商品提供できる状態で店舗に納品されたもの。

P38

※7 BCP

Business Continuity Planの略。災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたもの。

